法政大学学術機関リポジトリ
HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-09-03

和仏法律学校講義録

清水，澄 / 矢部，廉 / 松岡，義正 / 掛下，重次郎

(出版者 / Publisher)
和佛法律學校
(巻 / Volume)
3-12
(開始ページ / Start Page)
1
(終了ページ / End Page)
69
(発行年 / Year)
1903-04-29

昭和三十六年四月二十九日發行

三十六年度　第三學年ノ十二

和佛法律學校講習錄

和佛法律學校

第三學年十二號目次

民法親族（[illegible]）　法學士　堀下重次郎

商法手形（[illegible]）　法學士　矢部安重

[illegible]法（[illegible]）　[illegible]士　[illegible]正

行政法（[illegible]）　法學士　清水澄

雜報

○[illegible]ノ[illegible]考○[illegible]文書ノ[illegible]ニ[illegible]ル非[illegible]取[illegible]罪ト時效○[illegible]罪ト文[illegible]○[illegible]中取下ゲタル[illegible]ノ提起

090
1903
3-1-12

第七百七十六條但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ於テ之ヲ準用ス（舊民法人事編第一一三條第三項、第一二一條第二項）

養子縁組ノ屆出ニ對スル戸籍吏ノ義務ハ婚姻ノ屆出ニ關スル規定（第七七六條）ト全ク其趣意ヲ同シクスルモノニシテ戸籍吏ハ養子縁組カ法令ニ違反セサルコトヲ認メタル後ニ非サレハ其屆出ヲ受理スルコトヲ得サルナリ而シテ法令トハ第七百四十一條、第七百四十四條、第七百五十條、第八百三十七條乃至第八百四十八條又他ノ法令トハ戸籍法及ヒ附屬法令華族令等ヲ謂フナリ

養子縁組ノ場合ニ於テモ婚姻ノ場合ニ於ケルト同シク戸籍吏ニ於テ養子縁組カ第七百四十一條第一項又ハ第七百五十條第一項ノ規定ニ違反スルトキ之カ注意ヲ爲シタルニ拘ハラス當事者カ其屆出ヲ爲サントスルトキハ戸籍吏ハ敢テ之ヲ拒ムコトヲ得スシテ受理セサルヘカラス

外國ニ在ル日本人間ノ縁組（第八五〇條）　外國ニ在ル日本人間ニ於テ縁組ヲ爲サントスルトキハ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ニ其屆出ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ第七百七十五條及ヒ前二條ノ規定ヲ準用ス（舊民法人事編

第一二五條、法例第八條(第一九條)

外國ニ於テ日本人間ニ養子縁組ヲ爲ス規定ハ日本人間ニ外國ニ於テスル婚姻ニ關スル規定(第七七七條)ト全ク其趣意ヲ同シクスルモノナシ外國ニ於テ日本人間ニ養子縁組ヲ爲サントスルトキ雖モ本國ニ於テ其届出ヲ爲スコトハ原則ナレトモ斯クスルトキハ當事者ノ不便勘カラサルヲ以テ外國ニ於テ其手續ヲ爲スコトヲ得ル便法ヲ與ヘサルヘカラス即チ外國ニ在リテハ戸籍吏ニ代フルニ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ヲ以テシ之ニ其届出ヲ爲スコトヲ得ルモノト爲セリ而シテ此場合ニ於テモ日本ニ於ケルト同シク第七百七十五條、第八百四十八條及ヒ第八百四十九條ノ規定ハ準用セラルルナリ

第二款　縁組ノ無效及ヒ取消

養子縁組モ亦婚姻ノ如ク其法定ノ要件ノ欠缺ニ因リテ或ハ無效ト爲リ或ハ取消シ得ヘキ場合ヲ生ス而シテ養子縁組ノ無效ト爲リ又ハ取消シ得ヘキ場合ヲ生スルハ法律カ茲ニ規定シタル場合ニ限定セルカ故ニ本款ニ定ムル場合ノ外

養子縁組カ無效ト爲リ又ハ取消サルルコトアラサルナリ

縁組ノ無效(第八五二條)　縁組ハ左ノ場合ニ限リ無效トス

一　人違其他ノ事由ニ因リ當事者間ニ縁組ヲ爲ス意思ナキトキ

二　當事者カ縁組ノ届出ヲ爲ササルトキ但其届出カ第七百七十五條第二項及ヒ第八百四十八條第一項ニ掲ケタル條件ヲ缺クニ止マルトキハ縁組ハ之カ爲メニ其效力ヲ妨ケラルルコトナシ(舊民法人事編第一二七條、第一二九條、明治八年十二月九日太政官達第二百九號同十年六月十九日司法省丁第四十六號達)

縁組ノ無效ノ規定ハ全ク婚姻ノ無效ニ關スル第七百七十八條ノ規定ト異ナルコトナシ故ニ再ヒ茲ニ叙述セサルナリ

縁組ノ取消(第八五二條)　縁組ハ後七條ノ規定ニ依ルニ非サレハ之ヲ取消スコトヲ得ス

此規定ハ婚姻ノ取消ニ關スル第七百七十九條ト異ナルコトナケレハ今茲ニ叙述セス

縁組ヲ取消スコトヲ得ヘキ場合 (一) 第八百五十三條 第八百三十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ養親又ハ其法定代理人ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但養親カ成年ニ達シタル後六箇月ヲ經過シ又ハ追認ヲ爲シタルトキハ此限ニ在ラス(舊民法人事編第二八條)

成年ニ達シタル者ニ非サレハ養子ヲ爲スヲ得サルコトハ曩ニ說キタル第八百三十七條ニ規定スル所ナリ然ルニ此規定ニ背キテ未成年者カ養子ヲ爲シタルトキハ其利益ノ爲メ之カ取消ヲ許ササルヘカラス乃チ其養親自身又ハ其法定代理人ハ裁判所ニ其縁組ノ取消ヲ請求スルコトヲ得ヘシ而シテ此取消權ヲ有スル者ハ右兩者ニ限リ他ノ者例ヘハ養親ノ親ノ如キ者ニ之ヲ與ヘサルハ蓋シ第八百三十七條ノ規定ハ公益ノ爲メノ規定ニ非スシテ主トシテ養親ノ利益ヲ保護スルニ出テタルモノナレハ固ヨリ當然ナリ而シテ養親カ未成年中縁組ヲ取消ナスシテ成年ニ達シタル後仍ホ之ヲ取消スノ意思ナク却テ其縁組ヲ繼續スルノ意思アルトキハ養親ハ既ニ養子ヲ爲スノ能力ヲ有スルニ至リタル者ナルカ故ニ敢テ其縁組ヲ取消スコトヲ要セス是ヲ以テ法律ハ養親カ成年ニ達シタル後六箇月ヲ經過シタルトキ又ハ追認ヲ爲シタルトキハ養子ヲ爲スノ意思繼續スルモノト認ムヘキカ故ニ復タ其縁組ノ取消ヲ許ササルナリ

(二) 第八百五十四條 第八百三十八條又ハ第八百三十九條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者其戸主又ハ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得(舊民法人事編第一二八條)

何人ト雖モ尊屬又ハ年長者ヲ養子ト爲スヲ得サルコトハ第八百三十八條ニ規定スル所又法定ノ推定家督相續人タル男子アル者ハ男子ヲ養子ト爲スヲ得サルコトハ第八百三十九條ニ規定スル所ナリ然ルニ此等ノ規定アルニ拘ハラス之ニ背キテ養子ヲ爲シタルトキハ其制裁トシテ之カ取消ヲ許ササルヘカラス而シテ此場合ニ於テ法律ハ其取消權ヲ獨リ其養親ニ與フルノミナラス養子其戸主又ハ其親族ニ與ヘタリ而シテ前ノ場合ト異ナル所以ハ以上ノ規定ハ私益ノミノ保護ニ非スシテ公益ニ關スルヲ以テナリ但此場合ニ於テ法律カ婚姻ニ關スル第七百八十條ノ規定ノ如ク檢事ニ之カ取消權ヲ與ヘサルハ當事者戸主及ヒ親族等ニ於テ違法ノ養子縁組ヲ承認スルニ於テハ敢テ國家カ之ニ干渉ス

ルノ必要ナシト認メタレハナリ[illegible]故ニ普通ノ取消ノ場合ノ如ク期間ノ徒
以上ノ規定ハ公益ニ關スルモノナルヲ故ニ普通ノ取消ノ場合ノ如ク期間ノ徒
過又ハ追認ニ因リテ消滅スルコトナシ蓋シ縁組ヲリタル後幾多ノ年月ヲ經過
スルモ又ハ當事者ノ一方又ハ雙方死亡シタル後ト雖モ仍ホ之ヲ取消ヲ請求ス
ルコト得ヘシ[illegible]

(三)　第八百五十五條　第八百四十條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ養子又ハ其實
方ノ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終リタル後
養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス[illegible]
追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效力
シ[illegible]

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算ヲ終リタル場合ニ
於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之
ヲ起算ス(舊民法人事編第二八條第二項第一三〇條)[illegible]
遺言ヲ以テ養子ヲ爲ス場合(第八四八條)ヲ除タ外後見人ハ其後見ノ繼續中又ハ

任務終了後ト雖モ其管理ノ計算ヲ終ラサル前ニ其被後見人ヲ養子ト爲スヲ得
ナルコトハ第八百四十條ニ規定スル所ナリ然ルニ此規定ニ反シテ縁組ヲ爲シ
タルトキハ其制裁トシテ之カ取消ヲ許ササルヘカラス而シテ此取消權ヲ有ス
ル者ハ養子及ヒ其利益ヲ圖ルヘキ實方ノ親族ニ限リ其他ノ者ハ之ヲ有セサル
ナリ是レ他ナシ此規定ハ義ニモ說キタルカ如ク專ラ被後見人ノ財產上ノ利益
ヲ保護スルニ出テタルヲ以テカリ[illegible]
第八百四十條ノ規定ハ元來後見人カ未成年者ヲ養子ト爲シテ其財產ニ付キ私
曲ヲ行フノ虞アルヲ以テ之ヲ豫防スル爲メニ設ケタルモノナレトモ若シ後
見終了シテ後見人カ其管理ノ計算ヲ終ヘタル後養子ニシテ依然養子タランコ
トノ意思ヲ有スルトキハ此時ニ當リテハ養子縁組ヲ禁シタル原因既ニ消滅シ
テ養子ハ新ニ養子ト爲ルヲ得ルモノナルカ故ニ此場合ニ於テハ敢テ違法
タリシ縁組ヲ取消スヘキ理アラサルカリ是ヲ以テ管理ノ計算ヲ終リタル後養
子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ復タ其縁組ヲ取消スコトヲ得
サルモノト爲セリ[illegible]

後見人カ管理ノ計算ヲ爲スハ被後見人カ成年ニ達シタルトキ又ハ其禁治産者ナル場合ニ於テハ禁治産ノ宣告ヲ取消サレタルトキニ於テスベキカ故ニ養子カ未タ成年ニ達セス又ハ禁治産中ニ在リテハ縁組追認ヲ爲シタリト雖モ其追認ハ普通ノ場合ニ於ケルト同シク追認タル效力ヲ生セサルナリ(第一二四條第一項)

被後見人ノ未タ成年ニ達セス又ハ禁治産ノ宣告ノ取消サレサル間換言スレハ被後見人カ無能力ナル間ニ於テ管理ノ計算ヲ爲スコトアリ例ヘハ後見人カ被後見人ヲ其養子ト爲ストキハ爾後後見人ニ非スシテ更ニ養子ノ親權者トシテ其財産ヲ管理スルモノナレハ原則トシテ此場合ニ於テハ養子カ成年ニ達シタル後ニ非サレハ其管理ノ計算ヲ爲スコトヲ要セサレトモ養親カ半途ニシテ親權ヲ失ヒテ他ノ者カ後見人ト爲ルヘキトキハ養子ノ無能力者タル間ニ於テ管理ノ計算終ルヘケレトモ此場合ニ於テハ養子ハ未タ自ラ其計算カ正當ナルヤ否ヤヲ判斷スルコト能ハサルモノナレハ第一項但書ノ期間ハ計算終了ノ時ヨリ起算セスシテ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ起算スルコトヽ

ト爲セリ

(四)第八百五十六條第八百四十一條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ同意ヲ爲ナサリシ配偶者ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但其配偶者カ縁組アリタル時ヨリ知リタル後六箇月ヲ經過シタルトキハ追認シタルモノト看做ス(舊民法人事編第一二八條)

第八百四十四條第八百四十六條又ハ第八百四十六條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ其配偶者アル者ハ其配偶者ト共ニスルニ非サレハ縁組ヲ爲スヲ得サルコトハ第八百四十一條ニ規定スル所ナリ然ルニ配偶者アル者其配偶者ト一致セスシテ縁組ヲ爲シタルトキハ同意ヲ爲サナリシ配偶者ヲシテ其縁組ヲ取消スコトヲ得セシメサルヘカラス而シテ此場合ニ於テ爲シタル縁組ハ同意ヲ爲シタル配偶者ト其縁組ノ對手人トノ間ニ於テハ效力ヲ有スルモノニシテ同意ヲ爲サナル配偶者ニ對シテハ固ヨリ有效ナラサルヲ以テ此場合ニ於テ同意ヲ爲サナリシ配偶者ニ其配偶者ノ爲シタル縁組ヲ取消サシムルモノト爲セリ

同意ヲ爲サナリシ配偶者カ其縁組ヲ明カニ追認シタルトキハ其縁組ハ最初ヨリ夫婦ニ致シテ爲シタルト同樣ノ效力ヲ生ス又縁組アリタルコトヲ知リタル

ヲ六箇月ヲ經過スルモ依然取消ヲ請求セサルトキハ是レ其縁組ニ同意シタルモノト看做スカ故ニ後日之ヲ取消スルトヲ許ササルカリ是ヲ以テ此場合ニ於テハ追認ハ二様ノ效力ヲ含有ス第一ハ其配偶者ヲ自己ノ同意ヲ得スシテ爲シタル縁組ヲ自己ノ爲メニ引受ケル行爲ニシテ其縁組ハ追認ニ因リテ始メテ其效力ヲ生ス(第一千三條第一項)第二ハ配偶者ヲ爲シタル縁組ノ取消權ヲ拋棄是ナリ

本條ノ規定ハ主トシテ同意ヲ爲サナル配偶者ヲ利益ヲ保護スルニ在リテ公益ニ關スルモノニ非サレハ縁組ノ取消權ヲ有スルハ同意ヲ爲ササリシ配偶者ノミニシテ其他ノ者ハ之ヲ有セサルナリ

(五)第八百五十七條乃第八百四十四條乃至第八百四十六條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ同意ヲ爲ス權利ヲ有セシ者ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルトキハ之ヲ得

同意カ詐欺又ハ强迫ニ因リタルトキ亦同シ

第七百八十四條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス(舊民法人事編第三二條)

成年ノ子カ養子ヲ爲シ又ハ滿十五年以上ノ子カ養子ト爲ルニハ其家ニ在ル父母ノ同意ヲ得ルヲ要スル此ハ第八百四十四條ニ規定スル所縁組又ハ婚姻ニ因リテ他家ニ入リタル者カ更ニ養子トシテ他家ニ入ラシム欲スルトキハ實家ニ在ル父母ノ同意ヲ得ルヲ要スルモノトハ第八百四十五條ニ規定スル所又父母共ニ知レサルトキ、死亡シタルトキ、家ヲ去リタルトキ又ハ其意思ヲ表示スルコト能ハサルトキハ未成年者ハ其後見人及ヒ親族會ノ同意ヲ得ルヲ要スルコトハ第八百四十六條ニ規定セル所ナリ然ルニ同意ヲ要スベキ者ヲ同意ヲ得スシテ爲シタル縁組ヲ爲シ又總テ同意アリトスルモ其同意カ詐欺又ハ强迫ニ因リタル場合ニ於テハ同意ヲ爲ス權利ヲ有セシ者ヨリ其取消ヲ請求スルヲ得ベキハ固ヨリ當然ナリ而シテ此規定ハ婚姻ノ取消ニ關スル第七百八十三條ト其趣意ヲ同シクスルカ故ニ法律ハ縁組ノ取消ノ場合ニモ亦婚姻ノ取消ニ關スル第七百八十四條ノ規定ヲ準用スベキコトヲ爲スヲ權利ヲ有セシ者カ縁組アリタルコトヲ知リタル後又ハ詐欺ヲ發見シ若クハ强迫ヲ免レタル後六箇月ヲ經過シタルトキ(二)同意ヲ爲ス權利ヲ有セシ者カ追認ヲ爲シタルトキ(三)縁組屆出ノ日ヨリ二年ヲ經過シタルトキハ其取消權ハ消滅スルコトヲ是ナリ

茲ニ一ノ問題アリ第八百四十三條第二項ニ依レハ繼父母又ハ繼母カ十五年未滿ノ者ニ代リ養子ト爲ルヘキ承諾ヲ爲スヿハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス然ルニ右ノ規定ニ反シ親族會ノ同意ヲ得スシテ承諾ヲ爲シタル場合ニ於テ戸籍吏カ過チテ其屆出ヲ受ケタルトキハ其縁組ハ有效ナリヤ否ヤ

堺養子縁組ノ場合ニ於ケル其取消ノ請求方法(第八五八條)　堺養子縁組ノ場合ニ於テハ各當事者ハ婚姻ノ無效又ハ取消ヲ理由トシテ縁組ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但婚姻ノ無效又ハ取消ノ請求ニ附帶シテ縁組ノ取消ヲ請求スルコトヲ妨ケス

前項ノ取消權ハ當事者カ婚姻ノ無效ナルコト又ハ其取消アリタルコトヲ知リタル後六箇月ヲ經過シ又ハ其取消權ヲ拋棄シタルトキハ消滅ス(舊民法人事編第一三三條)

此規定ハ婚姻ノ取消ニ關スル第七百八十六條ノ規定ト其精神同一ナリ而シテ其理由ハ既ニ婚姻ノ取消ニ付テ叙述シタレハ今復タ茲ニ說カサルナリ

此取消權ヲ有スル者ハ縁組及ヒ婚姻ノ當事者即チ養親堺養子及ヒ堺養子ノ妻タル者是ナリ

唯此場合ノ婚姻ノ取消ノ場合ト異ナルハ其取消權ノ行使ノ期間ナリ婚姻ニ付テハ三箇月ナルニ縁組ノ取消ニ付テハ六箇月ト爲シタルハ婚姻ニ付テハ當事者カ夫婦タルコトヲ欲セサルトキハ其無效ナルコト又ハ其取消アリタルコトヲ知リタル後三箇月以上モ之ヲ默過スルコト能ハサルヘキモ縁組當事者間ノ關係ハ婚姻ノ如ク速ニ確定セシムヘキ必要アルヲ見サルヲ以テナリ

縁組ノ取消スコトヲ得ヘキ第六ノ場合及ヒ縁組取消ノ效力(第八五九條)　第七百八十五條及ヒ第七百八十七條ノ規定ハ縁組ニ之ヲ準用ス但第七百八十五條第二項ノ期間ハ之ヲ六箇月トス(舊民法人事編第六二條第一三一條第一三二條)

(イ)　婚姻ノ場合(第七八五條)ト同シク縁組ノ場合ニ於テモ詐欺又ハ强迫ニ因リテ縁組ヲ爲シタル者ハ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得而シテ其理由ハ婚姻ニ關スル第七百八十五條ニ就キ叙述シタレハ今復說セサルナリ唯此場合カ婚姻ノ取消ノ場合ト異ナル所ハ婚姻ノ取消權ハ其詐欺ヲ發見シ又ハ强迫ヲ免レタル後三箇月ヲ經過シタルトキハ消滅スルモノト爲セシモ縁組ニ付テハ其

期間ヲ前條ニ於テ氣遠シタル理由ニ從ヒ六箇月ト爲シタルハ在ルノミモ此

(ロ) 縁組取消ノ效力　縁組取消ノ效力モ婚姻取消ノ效力(第七八七條)ト同シク既往ニ遡ラサルヲ原則ト爲シ唯縁組ノ當時其取消ノ原因ノ存スルコトヲ知ラサリシ當事者カ縁組ニ因リテ財產ヲ得タルトキハ現ニ利益ヲ受タル限度ニ於テ其返還ヲ爲スコトヲ要シ惡意ノ當事者ハ縁組ニ因リテ得タル利益ノ全部ヲ返還スルコトヲ要シ尙ホ相手方カ善意ナリシトキハ之ニ對シテ損害賠償ノ責ニ任セサルヘカラス而シテ此理由モ亦ニ婚姻ノ取消ノ效力ニ付テ氣遠シタルハ是レ亦茲ニ復說セサルナリ

第九百六十四條第二號ニ養子縁組ノ取消ニ因リテ養子カ其家ヲ去リタルトキハ家督相續開始スルモノト爲ス養子カ一時爲シタル相續ヲ有效トシタルカ如キハ縁組取消ノ效力ノ既往ニ遡ラサルモノト定メタル結果ニ外ナラサルナリ

第三款　縁組ノ效力

本款ニ於テハ縁組ヨリ養子ト養親及ヒ其親族トノ身分ニ生スル關係ト縁組カ

養親ノ家ニ及ホス關係トヲ規定ス

嫡出子タル身分ノ取得(第八六〇條)　養子ハ縁組ノ日ヨリ養親ノ嫡出子タル身分ヲ取得ス(舊民法人事編第一三四條第一三五條)

養子ハ縁組ニ因リテ養親ノ嫡出子タル身分ヲ取得シ養親ノ血族ト總テ親族關係ヲ生スルコトハ我邦古來ノ慣習ナルヲ以テ縁組ニ因リテ嫡出子タル身分ヲ取得スルモノト爲セリ而シテ養子ト養親及ヒ其血族トノ間ニ於テハ養子縁組ノ日ヨリ血族間ニ於ケルト同一ノ親族關係ヲ生スルモノトハ法律カ親族ノ總則(第七二七條)ニ於テ既ニ認メタル所ナレハ養子ト養親トノ間ニ於テ縁組ノ日ヨリ實親子ニ等シキ關係ヲ生シ養子ヲ嫡出子ト爲スハ當然ナリ

養子ハ嫡出子ニ等シキカ故ニ親權相續權ヲ始メ扶養ノ義務婚姻ノ障礙(第七百六十九條但書ノ例外アリ)等ニ關シ實子ト毫モ異ナルコトアラサルカ如シ然レトモ之カ爲メニ養子ハ實家ニ於ケル親族關係ヲ失フニ非ス實家トノ關係ハ依然存スルモノトシテハ養子ハ實方ノ親族關係ト養方ノ親族關係トノ二樣ノ親族關係ヲ有スルナリ

養親ト家ヲ同シウスルコト(第八六一條)　養子ハ縁組ニ因リテ養親ノ家ニ入ル(舊民法人事編第一三四條)[illegible]縁組ニ因リテ養子ト養親トノ間ニ親子ノ關係ヲ生スルコトハ第七百二十七條ニ規定スル所ナレトモ第七百三十三條ニ子ハ父ノ家ニ入ル、父ノ知レサル子ハ母ノ家ニ入ルトアリテ養子ハ養親ニ對シテ子タルト同時ニ亦仍ホ實父母ニ對シテモ子タルヲ以テ以上ノ規定ニ因リ若シ養子ハ當然養親ノ家ニ入ルモノト解スルコトヲ得ス故ニ本條ヲ以テ之ヲ明カニシ我邦從來ノ慣習ニ如ク養子ハ縁組ニ因リテ當然養親ノ家ニ入ルモノト爲セリ蓋シ我邦ノ養子ハ主トシテ家ヲ繼カシムル爲メニ出ツルモノナルカ故ニ養子ハ確然其實家ニ在リテハ其目的ヲ遂スルコト能ハサルヲ以テナリ

第四款　離縁

離縁ナル語辭ハ從來婚姻ノ解除及ヒ養子縁組ノ解除ニ區別シテ用ヒタリト雖モ民法ハ婚姻ノ解除ニ付テハ離婚養子縁組ノ解除ニ付テハ常ニ離縁ナル語辭ヲ用ヒタレハ離縁ト稱スルトキハ婚姻ノ解除ニ關係ナキコトニ注意セサルヘカラス[illegible]離縁ヲ許スコトハ各國ノ立法例中或ハ之ヲ認ムルモノアリ或ハ然ラサルモノアリ佛國伊國等佛法系ノ諸國ハ離縁ヲ認メサレトモ獨逸諸州墺國(獨逸新民法第一七六八條)其他獨逸法系ノ諸國ハ當事者一方ノ請求ニ因リ養子ヲ爲スト同一ノ方式ヲ以テ縁組ヲ解除スルコトヲ得ルモノト爲セリ我邦ニ於テハ從來養子縁組ノ解除ハ婚姻ノ解除ト同シク之ヲ許シタレトモ本法ハ此舊慣ヲ認メ或ハ當事者ノ協議ニ因リ或ハ裁判所ノ宣告ヲ以テ離縁ヲ許スコトヲ爲セリ其當事者ノ協議ニ出テタルモノヲ協議上ノ離縁ト謂ヒ裁判所ノ宣告ヲ以テスルモノヲ裁判上ノ離縁ト謂フ而シテ協議上ノ離縁ハ恰モ當事者間ニ協議調フトキハ離婚ヲ爲スコトヲ得ルカ如ク養子縁組ニ付テモ亦當事者間ニ協議サヘ調フトキハ其原因ノ如何ヲ問ハス離縁ヲ爲スヲヨトヲ得ヘシ然ルニ反シテ裁判上ノ離縁ハ猶ホ裁判上ノ離婚ノ如ク法律ハ其場合ヲ限定シ且ニ之ヲ許サヽルヲヨトセリ

一　協議上ノ離縁

第八百六十二條　縁組ノ當事者ハ其協議ヲ以テ離縁ヲ爲スコトヲ得養子カ十五年未滿ナルトキハ其離縁ハ養親ト養子ニ代リテ縁組ノ承諾ヲ爲ス權利ヲ有スル者トノ協議ヲ以テ之ヲ爲ス

養親カ死亡シタル後養子カ離縁ヲ爲サントスルトキハ戸主ノ同意ヲ得テ之ヲ爲スコトヲ得(舊民法人事編第一三七條)

本條第一項ハ離婚ニ關スル第八百八條ニ相當スルモノニシテ縁組ノ當事者ハ既ニ叙述シタルカ如ク其原因ノ如何ニ拘ハラス協議調フトキハ離縁ヲ爲スコトヲ許ス蓋シ法律カ協議上ノ離縁ヲ許シタルハ養子縁組ハ之ニ因リテ養子ト養親トノ間ニ親族關係ヲ生セシムルモノナリト雖モ此關係タルヤ專ラ當事者ノ協議ニ因リ人爲ヲ以テ成リタルモノナレハ當事者カ之ヲ絶タントスルニ於テハ其意思ニ反シテ强ヒテ之ヲ繼續セシムヘキ公益上ノ必要アルヲ見ス若シ之ヲ許ササルコトト爲ストキハ却テ其一家ノ不和ヲ見ルノミナラス我邦ニ於テハ當事者間ニ協議調ヒタル離縁ハ慣習上之ヲ許シタルヲ以テ本法ニ於テモ之ヲ許スコトト爲シタリ

十五年未滿ノ者カ養子ト爲ラントスルトキハ其家ニ在ル父母之ニ代リテ縁組ノ承諾ヲ爲シ其父母ノ一方カ知レサルトキ死亡シタルトキ家ヲ去リタルトキ又ハ其意思ヲ表示スルコト能ハサルトキハ他ノ一方ノミノ意思ヲ以テ之ニ代ヘ父母共ニ知レサルトキ死亡シタルトキ家ヲ去リタルトキ又ハ其意思ヲ表示スルコト能ハサルトキハ親族會及ヒ後見人ノ意思ヲ以テ之ニ代ヘ實家ノ父母カ繼父母又ハ嫡母ナルトキハ其意思ニ加フルニ親族會ノ同意アルヲ要スルコトハ第八百四十三條第八百四十六條ニ規定スル所ナレハ協議上ノ離縁ニ付テモ最初爲シタル縁組ノ場合ト同シク此等ノ者トノ協議ヲ必要ト爲スハ當然ナリ

婚姻ニ付テハ夫婦ノ一方カ死亡シタルトキハ離婚ヲ爲スコトヲ許サレトモ縁組ハ養親カ死亡シタル後ト雖モ養子カ其解除ヲ爲サントスルトキハ之ヲ許スコトト爲セリ是レ蓋シ婚姻ハ夫婦ノ一方カ死亡シタルトキハ既ニ解消セラレタルモノニシテ復タ之ヲ解除スヘキ目的存セサレトモ養子縁組ハ之ニ反

シ專ラ親族關係及ヒ家族關係ノ發生ヲ目的トスシ其關係ハ養親ノ死亡ニ因リテ解消セラルルモノニ非サレハ養親死亡ノ後ニ在リテモ仍ホ此關係ヲ解クコトヲ許スヘキ必要アリテ此ノ如キハ實家及ヒ養家ノ爲メ便宜ナルコトアリ故ニ此場合ニ於テハ戸主カ養親ニ代リテ同意ヲ爲スヘキモノト爲セリ然レトモ是レ後ニ叙述スルカ如ク養子カ家族タル間ニ限ルモノニシテ既ニ養子カ戸主ト爲リタルトキハ最早離縁ヲ爲スコトハ許サレサルナリ(第八七四條)

縁組當事者ノ一方ノ死亡ノ後ト雖モ離縁ヲ許スハ養親ノ死亡シタル場合ニ限ルモノニシテ養子ノ死亡シタル後ニ於テハ離縁スルコトヲ得ス是レ之ヲ認ムヘキ必要ナキヲ以テナリ

父母、親族會、後見人ノ同意(第八六三條)　滿二十五年ニ達セサル者カ協議上ノ離縁ヲ爲スニハ第八百四十四條ノ規定ニ依リ其縁組ニ付キ同意ヲ爲ス權利ヲ有スル者ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第七百七十二條第二項第三項及ヒ第七百七十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス(舊民法人事編第一三八條)

形ヲ支拂人ニ呈示シ其引受ヲ求ムルコトヲ得ル旨ヲ規定セリ是レ即チ引受人ヲ爲メニスル呈示ハ所持人ノ權利ナルコトヲ規定シタルモノナリ此ノ如ク原則トシテハ呈示ハ所持人ノ權利ナルモ例外トシテ唯二ノ場合ニハ所持人ノ義務トヲ爲ルコトアリ第四百六十六條第二項及ヒ第四百七十二條第二項ノ場合即チ是ナリ此二ノ場合ヲ除ク外ハ引受ヲ爲メニスル呈示ハ總テ所持人ノ自由ニ隨フ所持人ハ必要ナリト認ムルトキハ何時ニテモ手形ヲ呈示シ引受ヲ求ムルコトヲ得即チ極端ニ言ヘハ手形ヲ受取ルヤ否ヤ直チニ本形ノ引受ヲ求ムルヤモ爲シ得ルモノトス然レトモ第四百六十五條ニ依リ「何時ニテモ」ト規定シ居ルモ引受ノ性質ヨリシテハ滿期日以前ニアラサルヘカラサルハ明瞭ナリ何トナレハ滿期日以後ハ手形ハ支拂ノ關係ニ入ルヲ以テナリ

引受ハ呈示ヲ自由トスルハ理由ハ手形ノ引受ハ必スシモ支拂ト離ルヘカラサル關係ヲ有スルモノニ非ス縱令引受アリトスルモ滿期日ニ至リ實際ニ於テハ支拂ヲ拒絶スルヤモ測リ難シ又引受ヲ與ヘタルトモ滿期日ニ至リテ手形ハ支拂ハルルコトヲ期加之引受ノ爲メニ呈示ハ多少手數ヲ要ス而モ引受カ拒絶サルレハ引

受拒絶證書ヲ作成セシメタルトキハ不便アルヲ以テ所持人カ支拂拒絶ノ場合ニ償還義務者アルヲ満足セシメタル必スシモ引受ヲケレ他手形ノ取引ヲ爲スヲ得ルト限ラサルヲ以テナリ引受ノ爲メニスル呈示ハ原則トシテ所持人ノ權利ナルモ左ニ掲クル場合ニ限リ所持人ノ義務ナリ手形ノ支拂人ハ引受ヲ拒絶スルトキハ支拂人ハ一覽後定期拂ノ爲替手形ノ場合ニ於テ一覽後定期拂ノ爲替手形ノ場合ニ於テ一覽後定期拂ノ手形ニ在リテハ所持人ハ其手形ノ日附ヨリ一年以内ニ其手形ヲ呈示シテ引受ヲ求メサルヘカラス若シ又振出人カ之ヨリ短キ期間ヲ定メタルトキハ其指定シタル期間内ニ呈示スルヿヲ要ス此場合ニ於テ若シ所持人カ手形ヲ呈示スルヿヲ怠ルカ又縱令呈示スルモ引受拒絶證書ニ依リテ呈示ヲ爲シタルコトヲ證明セサルトキハ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ即チ擔保請求權ヲ失フノミナラス償還請求權ヲモ失フ蓋シ一覽後定期拂ノ爲替手形ニ於テ此ノ如キ制限ヲ設ケタル理由ハ若シ此制限ナキトキハ滿期日ハ起算點ナル以テ何時ヲ以テ開始スルヤ頗ル不確定ト爲ルヲ恐レサルニ大ナリ此場合ニ於テ其手形ヲ引受ケシメ其日ヲ以テ滿期日ヲ起算シ得ル利若シ支拂人カ支拂ヲ拒絶スルカ或ハ引受ヲ爲スモ其日附ヲ記載セサルトキハ滿期日ハ果シテ何時ヨリ起算スヘキヤ第四百六十七條ニ依レハ此場合ニハ所持人ハ其手形ノ呈示期間内即チ日附ヨリ一年内又ハ振出人カ指定シタル之ヨリ短キ期間内ニ引受拒絶證書ヲ作成セシメサルヘカラス而シテ之ヲ作リタルトキハ其證書作成ノ日ヲ以テ呈示ノ日ト看做シ滿期日ハ其日ヨリ起算ス若シ引受人カ引受ヲ爲シタルニモ拘ハラス其日附ヲ記載セサリシ場合ニ所持人カ拒絶證書ヲ作ラシメサルトキハ呈示期間ノ末日ヲ以テ呈示ノ日ト看做シ滿期日ハ其日ヨリ起算ス

第二　他所拂手形ノ場合

支拂地カ支拂人ノ住所地ト異ナルトキハ振出人ハ他人ヲ支拂擔當者トシテ手形ニ記入シ得ルモ若シ之ヲ記入セサルトキハ振出人ハ所持人ヲシテ一定ノ期日ニ手形ヲ支拂人ニ呈示スヘキコトヲ命スルコトヲ得此場合ニハ所持人ハ引受ヲ求ムル爲メノ呈示ノ義務ヲ負擔ス若シ其呈示ヲ怠リタルトキ又ハ其呈示ヲ爲スモ拒絶證書ヲ以テ之ヲ證明セサルトキハ前者ニ對シ手形上ノ權利ヲ失フ蓋シ他所拂ノ手形ニ於テ振出人カ自ラ支拂擔當者ヲ記入セサル所以ハ實

拂人ヲシテ之ヲ記入セシムルノ意思ナルヲ以テ支拂人ニ其便宜ヲ與ヘンカ爲メニ手形ノ呈示ヲ必要トス蓋シ支拂地カ支拂人ノ住所樣ト異ナル場合ニ於テ然支拂擔當者ノ記載ナキトキハ支拂人ハ自ラ支拂地ニ於テ支拂ヲ爲ス責ニ任ス（第四七二條第二項此不便ヲ除クカ爲メニ第一ニ振出人カ手形ヲ振出スニ當リテ自ラ支拂擔當者ヲ記入スルコトヲ得然レトモ元來手形ハ支拂ナルモノハ支拂人ノ責任ニ歸スヘキモノナルヲ以テ支拂地カ支拂人ノ住所地ト異ナル場合ニ此種ノ手形ニ付キ生スル手形ノ不便ヲ除クカ爲メニ他人ヲシテ支拂擔當者ト定メ支拂ノ任ニ當ルコトヲ許スハ支拂人ノ爲メニ頗ル便利ナリ故ニ第四百七十二條ヲ以テ振出人カ支拂擔當者ヲ記載セサル場合ニ支拂人自ラ之ニ記載シ得ルノ權能ヲ認メタリ而シテ支拂人カ之ヲ記載シ得ルハ其手形ノ引受ヲ爲スニ當リテ之ヲ記入シ得ルヲ以テ支拂人ノ此權能ヲ實行シ得ルカ爲メニ手形ノ呈示ヲ以テ所持人ノ義務ト爲シタルナリ

第二節　引受ノ方式

第一項　完全ナル引受ノ方式

引受ノ方式ハ極メテ單純ニシテ左ノ三ノ條件ヲ要ス

第一　引受ノ旨ヲ記載スルコト

即チ引受ノ完全ナル方式トシテハ振出人ノ支拂ノ委託ニ應シテ手形上ノ義務ヲ負擔スル意思ヲ表示スルカ爲メニ引受ノ旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第二　引受人ノ署名

引受モ亦一種ノ手形行爲ナリ隨テ他ノ手形行爲ト同シク引受ヲ爲ス者ノ署名ヲ爲スコトヲ要スルハ當然ナリ

第三　引受ノ旨ヲ記載シ且署名スヘキ書面ハ爲替手形ニ限ルコト

引受ハ裏書ト異ニシテ其旨ヲ記載シ支拂人ノ署名ヲ爲スヘキ書面ハ引受ト異ナリ手形ハ勿論其謄本又ハ補箋ニ之ヲ爲スコトヲ得ルモ引受ハ爲替手形其モノニ爲スニ非サレハ縱令實際引受ノ意思アリトスルモ手形上ノ效力ヲ生セス而シテ引受ノ日附ハ引受ノ要件ニ非ス

第二項　署名ノミヲ以テスル引受ノ方式

支拂人ハ往往手形ニ自己ノ署名ノミヲ爲ス場合アリ此場合ニ於テハ引受ヲ爲シタル者ト看做スコトハ第四百六十八條第二項ノ規定スル所ナリ即チ引受ノ方式ハ最モ簡單ナル署名ノミニテモ爲シ得ルモノニシテ格モ裏書ニ於テ署名ノミノ裏書ヲ認メタルト同樣ナリ蓋シ署名ノミヲ爲シタル場合ニ之ヲ引受ト看做スノ趣意ハ支拂人ハ何等ノ必要ナキニ自ラ好ミテ手形ニ署名シタルハ專ロ引受ノ意思ヲ表示シタルモノト解釋スルヲ適當トスルヲ以テナリ何トナレハ若シ引受ヲ拒絶セントスル趣意ナレハ單純ニ手形ヲ返却スレハ足レリ然ルニモ拘ハラス總テ手形行爲ニ通シテ最モ大ナル要件タル自己ノ署名ヲ爲シタルハ之ヲ以テ何等ノ意思ナキモノト解釋スルヲ得ス是レ即チ之ヲ以テ引受ト看做シタル所以ナリ

第三節　引受ノ性質

引受ハ支拂人カ爲替手形ノ振出人ノ依頼ニ應シテ其手形上ノ義務ヲ負擔スヘキ要式的ノ意思表示ニシテ所謂ル手形行爲ナリ[illegible]爲替手形カ振出サレタルモ未タ少クトモ其手形カ受取人ノ手ニ渡ルニ非サレハ引受ナルモノアリ得ヘカラス故ニ引受ナルモノ發生スルニハ少クトモ爲替手形カ振出サレルヿヲ必要トス要スルニ爲替手形ナルモノナケレハ引受カシ而シテ引受カ形式上存在スルトキハ少クトモ形式上完全ナル手形アルヿヲ要ス又實質上引受義務ノ成立スルニハ實質上ノ手形權利者アルコトヲ必要トス故ニ手形ハ形式ニ於テ完全ニ振出サレタルモ實質上手形權利者カナキトキハ又實質上引受義務存在セス引受ハ普通ニ振出人ノ依頼ニ應シテ支拂人カ支拂義務ヲ負擔スルモノナリト定義スルモ之ヲ以テ直チニ委任ノ承諾ナリト解釋スヘカラス實際ニ於テ民事上ノ契約又ハ委任ノ關係カ裏面ニ存在スルト否トニ拘ハラス引受ナルモノハ引受人カ一定ノ方式ヲ踐ミテ手形行爲ヲ爲スニ因リテ成立スルモノニシテ其法律上ノ性質ハ契約ニ非スシテ引受人ノ片面的單獨ノ行爲ナリ又其方式ニ於テ引受ナル事ハ其手形ヲ呈示スル者ニ對スル所ノ支拂ノ

承諾ニ非スト雖モ正當ナル手形人ニハ一定ノ期日、一定ノ場所ニ於テ手形金額ヲ支拂フベキ義務ヲ負擔スル所ノ意思表示ニシテ法律上當然ニ其效力ヲ生スルモノナリ

第四節　引受ノ效力

第一項　引受人ノ義務

引受人カ引受ヲ爲シタルトキハ滿期日ニ至リテ其引受シタル金額ヲ支拂フ義務ヲ負擔ス(第四七〇條)此支拂義務ハ手形上ノ嚴格ナル義務ニシテ普通一般ノ義務ト其趣ヲ異ニス一タヒ引受ヲ爲シタルトキハ之ヲ取消スノ途ナク又他ニ之ヲ免ルル方法ナシ雖モ唯他所拂手形ニ支拂擔當者ノ記入アル場合ニ所持人カ手形上ノ權利ヲ保全スベキ行爲ヲ怠リタルトキ並ニ滿期日ヨリ三年ヲ經過シタルトキハ其義務ヲ免ルルコトヲ得ルノミ(第四九〇條第二項、第四四三條)

引受人ノ手形金額ヲ支拂フ義務ハ引受ノ種類ニ依リ其程度異ナル之ニハ二種アリ其第一ハ手形面記載ノ金額ヲ無條件ニ全部支拂フベキ引受即チ振出人ノ委託通リニ支拂フベキモノニシテ所謂單純ナル引受ナリ此場合ニ於テハ其手形金額全部ヲ支拂フベキハ勿論ナリ其第二ノ引受ハ手形金額ノ一部ニ付テ引受ヲ爲シタル場合ナリ之ヲ嚴格ニ言ヘハ制限附ノ引受ニシテ純粹ノ引受ト謂フコトヲ得ナルモ第四百六十九條第一項ハ特ニ明文ヲ以テ此ノ如キ手形金額一部分ノ引受ヲ爲スコトヲ認メタリ蓋シ一部ノ引受ヲ認メタル理由ハ實際上ノ便宜ヲ重シタルモノニシテ一ハ手形資金ノ關係ヨリシ又一ハ前者ノ擔保義務ヲ輕減セシメントスルノ趣意ニ外ナラス

所謂制限附ノ引受ハ手形金額ノ一部ノ引受ノ外手形法ハ之ヲ認メス其以外ニ於テ制限ヲ附シテ單純ナラサル引受ヲ爲シタルトキハ全ク引受拒絶ト看做ス(第四六九條第二項)即チ例ヘハ手形ノ滿期日ヲ變更シ或ハ支拂ノ場所ヲ變更シタル引受ノ如キハ手形法ニ所謂引受ニ非ス即チ之ヲ引受拒絶ト看ルノ結果トシテ此ノ如キ場合ニ所持人ハ引受拒絶證書ヲ作成セシメテ前者ニ對シテ擔保ヲ請求スルコトヲ得此ノ如ク手形法ニハ手形金額ノ一部ノ引受ノ外所謂制限附ノ引受ニ付テハ其效力ヲ認メサルモ手形ノ實際ノ取引ニ至レハ手形ノ所持

人ト支拂人トノ特約ニ依リテ或ハ支拂ノ場所ヲ變更シ或ハ又滿期日ヲ延長スルコトアリ然レトモ縱令此等特定人ノ間ニ此ノ如キ特約存在スルトスルモ振出人以外ノ前者ノ法律上ノ地位ニ變更ヲ來スベキ理由ナシ換言スレハ此等特定人ノ間ニ定メタル事項ニ異ナリタル特約ヲ爲スハ直チニ以テ手形面記載ノ手形上ノ請求ノ拋棄ト看ルコトヲ得ス故ニ縱令所持人カ制限附ノ引受ニ應スルトスルモ前者ニ對シテ擔保ヲ請求スベキ權利ヲ奪ハルルコトナシ

所謂制限附ノ引受カ引受ノ拒絕ト看做サルルニ拘ハラス單絕ナル引受ノ拒絕ト異ナル點ハ其制限附ノ引受ヲ爲シタル引受人ハ其引受ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フコト是ナリ(第四六九條但書)蓋シ單純ナル引受拒絕ノ場合ニハ支拂人ハ絕對的ニ支拂義務ヲ拒絕シタルモノナルヲ以テ何等ノ手形上ノ義務ヲ負擔セシメサルモ制限附ノ引受ヲ爲シタル場合ニハ手形面ニ其制限附ノ引受文句アルヲ以テ法律ハ手形當事者全體ノ關係ヨリ言ヘハ引受ノ拒絕ト看做シ居ルモ其引受人ノミハ制限附ノ引受文句ノ趣旨ニ從ヒテ其責任ヲ負擔スベキ旨ヲ規定セリ其結果トシテ若シ本來ノ手形ノ滿期日ニ至リテ所持人カ支拂ヲ請求シ

テ拒絕サレタルニ拘ハラス支拂拒絕證書ヲ作成セシメス前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ全然喪失スルトスルモ制限附ノ引受ヲ爲シタル引受人ハ其文句ノ趣旨ニ從ヒテ支拂義務ヲ負擔ス

支拂人カ引受ヲ爲シタルニ拘ハラス爲替手形ノ支拂ヲ爲ササル場合ニハ所持人又ハ不支拂ノ爲メニ償還ヲ爲シタル者ニ對シ第四百九十一條又ハ第四百九十二條ニ規定アル金額ヲ支拂ハサルヘカラス

第二　引受人ノ權利

引受人ノ權利ハ第一、不確定ノ他所拂ノ手形ニ於テ支拂擔當者ヲ指定スル權利(第四七二條)第二、支拂地ニ於ケル支拂ノ場所ヲ記載スル權利(第四七三條)是ナリ

振出人モ支拂地ニ於ケル支拂ノ場所ヲ記載スルコトヲ得ルハ既ニ手形ノ振出ノ所ニ於テ說明セシ所ナリ振出人ニシテ此權利ヲ有スル以上ハ支拂ノ主タル債務者タル引受人ニ此權利ヲ與フル必要アルハ論ヲ俟タス

以上第一、第二ノ權利ハ引受其モノノ當然ノ效力ニ非サルモ引受人ニ伴フ所ノ權利ナリ引受ヲ爲ササル支拂人ハ此ノ如キ權利ヲ有セス此權利ヲ行使スルモ

ハ其時期ニ制限アリテ何レモ支拂人カ引受ヲ爲ス當時ニ之ヲ行使セサルヘカラス既ニ引受ヲ爲シタル後手形カ所持人ノ手ニ返リタルトキハ再ヒ之ヲ記入スル權利ナシ

第四章　支拂

第一節　支拂ノ爲メニスル呈示

支拂ノ爲メニスル呈示ハ引受ノ爲メニスル呈示ト異ナリ手形ノ所持人ハ支拂ヲ求ムル爲メニハ必ス爲替手形ヲ支拂人又ハ引受人ニ呈示セサルヘカラス前ニ述ヘタルカ如ク引受ヲ求ムル爲メニスル呈示ハ所持人ノ自由ナリト雖モ元來手形ノ支拂ハ手形其モノト引換ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ要セサルヲ原則トスルノミナラス其他前者ニ對シ償還ヲ請求スルノ條件ト爲リ又ハ引受人ヲ遲滯ノ責ニ任セシムルノ條件トシテ支拂ノ爲メニスル呈示ハ必ス之ヲ實行セサルヘカラス而シテ此呈示ハ爲替手形ノ引受アリタルト否トニ拘ハラス之ヲ爲ササルヘカラス蓋シ先ニ引受ナカリシトスルモ支拂人カ滿期日マテニ手形

ノ賣金ヲ得タル場合ニ於テハ實際支拂ヲ爲スニ差支ナケレハナリ此支拂ノ呈示ニ付テ手形法カ特ニ嚴格ナル規定ヲ設ケタルハ第四百八十二條ナリ即チ一覽拂ノ爲替手形ノ所持人ハ其日附ヨリ一年内ニ爲替手形ヲ呈示シテ支拂ヲ求メサルヘカラス若シ振出人カ之ヨリ短キ期間ヲ指定シタル場合ハ其指定ノ期間内ニ支拂ヲ求ムル爲メニ之ヲ呈示セサルヘカラス若シ所持人カ拒絶證書ヲ以テ此期間ノ如ク呈示シタルコトヲ證明セサル場合ニハ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ蓋シ此ノ如キ制裁ヲ設ケタル所以ハ一覽拂ノ手形ハ一覽ノ日即チ手形ノ滿期日ナルヲ以テ若シ此ノ如キ制限ナカリセハ一覽ノ日即チ手形ノ滿期日ハ不確定ノモノト爲リ非常ノ長期間ニ亘ルノ虞アレハナリ

支拂ヲ求ムル爲メニスル呈示ハ一ニハ償還請求權行使ノ條件ト爲リ又一ニハ引受人ヲシテ遲滯ノ責ニ任セシムルノ條件ト爲ル第四百八十七條ニ依レハ所持人カ償還請求ヲ爲サントスルトキハ支拂ヲ求ムル爲メニ爲替手形ヲ支拂人ニ呈示シ其他同條ニ定メタル所ノ手續ヲ履行スルノ必要アリ故ニ若シ此手續ヲ爲スコトヲ怠ルトキハ其前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ是ニ由リテ之ヲ

觀レハ支拂ノ爲メニスル呈示ハ債遲請求權行使ノ一ノ必要條件ナリ又次ニ支拂ノ爲メニスル呈示ハ引受人ヲシテ遲滯ノ責ニ任セシムルノ條件ナリ元來民法ノ規定ニ依レハ(民法第四一二條參照)債權ニ期限ヲ附シタルトキハ債務者ハ其期限ノ到來ニ因リテ遲滯ノ責ニ任スルヲ原則トスト雖モ手形ニ在リテハ然ラス單ニ滿期日ノ到來ヲ以テ直チニ引受人ヲシテ遲滯ノ責ニ任セシムルモノニ非ス支拂ノ爲メニスル呈示ニ因リテ始メテ引受人ニ遲滯ノ責ヲ負ハシムルモノナリ蓋シ手形ハ多數ノ當事者間ニ流通シ債權者ハ常ニ變動スルヲ以テ債務者ヨリ進ミテ支拂ヲ爲スコトハ到底不能ニ屬スレハナリ故ニ手形ノ呈示ヲ待チテ始メテ支拂ヲ爲スヘキモノニシテ呈示アルマテハ縱令引受人ト雖モ遲滯ノ責ニ任セシメサルハ當然ナリ

商法第二百七十九條ニ依レハ一般ノ指圖債權及ヒ無記名債權ノ債務者ノ遲滯ノ責任ニ付テハ縱令其證書ニ期限ノ定アリト雖モ其期限到來後ニ所持人カ其證券ヲ提出シテ履行ノ請求ヲ爲シタル時ヨリ遲滯ノ責ニ任スヘキモノトセリ手形モ亦通常指圖債權ナルカ又ハ無記名債權ナルヲ以テ第二百七十九條ヲ基礎トシテ論スルトキハ勿論同條中ニ包含セラルルモノナリト雖モ第二百七十九條ハ記名債權ノ債務者ニ付テハ何等ノ規定ナキモノト謂ハサルヘカラス故ニ同條ノミニ付テ立論スルトキハ振出人ノ裏書禁止ノ手形ニ付テハ引受人ハ滿期日ノ到來ニ因リ直チニ遲滯ノ責ニ任スヘキカ如シト雖モ手形法ニ關スル他ノ規定ヨリ推究スルトキハ直チニ此ノ如ク論決スルコトヲ得ス蓋シ振出人カ裏書ヲ禁止シタル手形ニ於テモ其債權債務ノ關係ハ他ノ一般ノ手形ト毫モ異ナル所ナク例ヘハ裏書禁止ノ手形ニ於テモ所持人ハ引受ヲ求ムル爲メニ之ヲ呈示シ又支拂ヲ求ムル爲メニモ之ヲ呈示セサルヘカラスシテ其他ノ手形關係ニ付キ手形法ノ上ニ於テ特ニ其取扱ヲ除外シタル點毫モ發見スルコトヲ得サレハナリ換言セハ此種ノ手形モ學者ノ所謂呈示證券タル性質ヲ失フモノニ非ス又第四百八十三條ニ於テハ爲替手形ノ支拂ハ其手形ト引換ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ要セサル權利ヲ支拂ヲ爲ス者ニ與ヘタルヲ以テ觀レハ引受人カ此種ノ手形ニ付テノミ滿期日ノ到來ト共ニ遲滯ノ責ニ任スルハ聊カ矛盾ノ嫌アルヲ免レサルノ結果ヲ生ス之ヲ要スルニ以上說明シタル諸點ヨリ研究スレ

ハ振出人ノ裏書禁止ノ手形ニ付テモ引受人ハ支拂ノ爲メニスル呈示ヲ待チテ始メテ遲滯ノ責ニ任スベキモノト解スルヲ妥當ナリトス

第二節　支拂ノ時期

支拂ノ時期ハ所謂手形ニ記載シタル滿期日ナリ手形ノ所持人ハ其期日前ニ於テハ勿論支拂ヲ請求スルコトヲ得ス然レトモ此期日ニ至リ支拂ヲ得サルトキハ拒絶證書ヲ作成セシメテ前者ニ對シ償還請求權ノ行使スルコトヲ得此ノ如ク滿期日ハ支拂人又ハ引受人ヨリ觀ルトキハ支拂ヲ爲スベキ確定日ナリト雖モ手形所持人ノ權利ノ方面ヨリ觀ルトキハ所持人ハ必スシモ其日ニ支拂ヲ請求セサルベカラサルモノニ非ス新商法ニ於テハ拒絶證書作成期間內即チ滿期日又ハ其後ノ二日以內ハ有效ニ支拂ヲ請求スルコトヲ得又縱令滿期日カ祭日ニ當ルモ爲メニ滿期日ノ變更ヲ來サス故ニ支拂人ハ滿期日ハ祭日ナルヲ理由トシテ支拂ヲ拒絶スルコトヲ得ス

茲ニ支拂期日ノ延期ニ付テ一言セン二手形ノ支拂人ト所持人トノ特約ヲ以テ

手形面ニ記載期日ニ於テ其儘存在シ特ニ支拂期日ヲ延長スルコトヲ要スト雖モ此ノ如キ特約ハ縱令之ヲ手形ニ記載スルトキ手形上ノ效力ヲ生セス唯單ニ其特約アル事實ハ當事者間ニ對シテノミ其效力ヲ生ス故ニ此ノ如キ特約ヲ爲シタル所持人ハ其約シタル期日ニ到來スル前ニ於テ手形金額ヲ支拂ヲ請求スルコトヲ得ス又支拂人ハ其特約ヲ以テ其者ニ對シ支拂ヲ拒ムコトヲ得然レトモ此ノ如キ特約ヲ以テ他ノ手形債務者又ハ特約者ノ後者ノ手形上ノ地位ニ變動ヲ生スベキ理ナシ故ニ支拂人ニ對スル關係ヨリ觀ルトキハ特約ヲ爲シタル者ハ其手形ヲ讓受ケタル所持人ハ手形面記載ノ滿期日ニ於テ支拂ヲ請求シ得ベク支拂人ハ前ノ特約ヲ理由トシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス又前者ニ對スル關係ヨリ觀ルトキハ特約ヲ爲シタル所持人ハ單ニ償還請求權ヲ行使セントスルモ其手形ノ滿期日ヲ以テ基本トシテ爲サルベカラス而シテ前者ハ所持人ニ特約ヲ爲サルカ故ニ滿期日ニ支拂ヲ爲サルコトヲ理由トシテ償還義務ヲ免ルルコトヲ得ス要スルニ支拂延期ノ特約ハ其特約者間ノミニ止マリ他ノ手形當事者ニ何等ノ效力ヲ及ホサス換言セハ手形上ノ效力ヲ生セス

為替手形ニ限ラズ凡ソ商法ノ手形ハ之ヲ以テ支拂ヲ爲スヘキ目的ヲ以テ作ル者ニシテ其支拂ヲ爲スヘキ期日ヲ定メタルモノトス

第三節　支拂ノ目的

支拂ノ目的ハ一定ノ金額ヲ即チ定ノ價値ヲ有スル貨幣ヲ量ルヲ以テ貨幣ノ種類ニ關係アルモ故ニ支拂人ハ如何ナル種類ノ貨幣ヲ以テ支拂ヲ爲スヘキヤ之ヲ得貨幣ノ種類ヲ制限スル所ノ記載ニ從フ手形上ノ效力ナシ次ニ支拂ノ目的ノ全部ナルヤ或ハ一部ナルヤ之ヲ以テ全部ノ支拂ヲ以テ手形面記載ノ金額全部ヲ悉ク支拂フモノトシテ手形上ノ債權債務ハ全然消滅スル一部支拂ハ第四百八十四條ニ規定スル所ニシテ其ノ總合初メ手形金額ノ全部ヲ引受アリシトキト雖モ手形ノ所持人ハ其一部分ノ支拂ヲ拒絶スルヲ得ルモ蓋シ手形ノ支拂ニ付テハ或ハ支拂人ヲシテ支拂ハシムルヲ以テ便宜ナリトスルクエルタス所持人ニ對シテハ前者タル債遲義務者ヲシテ雖モ支拂人カ手形金額ノ一部ヲ支拂ヒ得ルニ拘ハラズ悉ク債遲義務者ニ使嗾シテ債遲ヲ爲サシムルハ前者ニ對シテハ過酷ナリト謂ハサルヲカラス故ニ一部ハ前者ノ利益ヲ保護スル爲ニ爲スヲ以テ或ハ或ハ支拂人ヲシテ其部分カリト雖モ支拂ハシムル爲メニ一部支拂ハ之ヲ拒ムコトヲ得ル旨ヲ規定セリ但一部ノ支拂アリタル場合ニハ前者ハ其殘額ニ對シテノミ債遲ヲ爲スヲ以テ足ルコトハ言ヲ俟タス

第四節　支拂ニ關スル人

第一節　支拂ヲ爲スヘキ人ヲ支拂人引受人引受保證人並ニ支拂擔當者即チ是ナリ

第二　支拂ヲ受クル人　直接ニ或ハ間接ニ或ハ裏書ニ依リテ其支拂ヲ受クル人ハ所持人及ヒ被裏書人無記名手形ノ所持人白地裏書アル手形ノ所持人取立委任ノ裏書ハ被裏書人並ニ買入裏書ハ被裏書人ニシテ尚ホ債遲ニ因リテ手形ヲ取得シタル者ハ引受人ニ對シテハ支拂ヲ請求スルコトヲ得失並ニ一ノ疑問ハ支拂ヲ爲スヘキ者ハ僞造者變造者又ハ惡意若クハ重大ナル過失ニ因リテ手形ヲ取得シタル者ニ對シテ支拂ヲ爲シタルトキハ其支拂ハ有效ナルヤ否ヤノ問題ナリ左ニ場合ヲ別チテ解決セン

(ハ) 支拂ヲ爲シタル者ニ惡意又ハ重大ナル過失アル場合　此場合ニハ其支拂ハ無效ナリ何トナレハ第四百四十條ノ規定ニ依レハ何人ト雖モ惡意又ハ重大ナル過失ナクシテ手形ヲ取得シタル者ニ對シテハ其事形式ニ違法ヲ請求スルコトヲ得サル旨ヲ規定シタル所精神ヨリ觀ルトキハ若シ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リテ手形ヲ取得シタル者ニ對シテハ其手形ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ル讀ハナルヘカラス故ニ此場合ニ於テ支拂ハ無效ト決セサルヘカラス故ニ此場合ニ於テ支拂ハ無效ト決セサルヘカラス

(二) 支拂ヲ爲ス者ニ惡意又ハ重大ナル過失ナキ場合　此場合ハ又大別シテ其效力ヲ決セサルヘカラス

(イ) 手形カ指圖債權ニシテ支拂ヲ爲ス者カ債務者ナルトキ　即チ引受人又ハ引受保證人カ支拂ヲ爲ストキ　此場合ハ民法第四百七十條ノ規定ニ依リ其支拂ハ有效ナリ

(ロ) 手形カ指圖債權ナルモ支拂ヲ爲ス者カ債務者ニ非サルトキ　此場合ニハ於テハ民法並ニ商法ニ何等ノ規定ナシ然レトモ民法第四百七十條ノ規定ヨリ推究スルトキハ此場合ニ於テ支拂ヲ無效ト爲スヘキ理由ハ毫モ見出ス能ハス

(ハ) 手形カ無記名債權ナルトキ　無記名債權ニ付テハ其證書ノ所持人ハ即チ權利者ナリト看做サルヘキモノナルヲ以テ其者ニ對シテ爲シタル支拂ハ有效ナリ

(ニ) 手形カ記名債權ナルトキ　即チ振出人カ裏書ヲ禁シタル手形ニ付テハ民法第四百七十九條ノ規定ニ依リ手形債權者カ利益ヲ受ケタル現度ニ於テノミ支拂ハ有效ナリ

第五節　支拂ノ方法

支拂ノ方法ハ全部ノ支拂ナル場合ト一部ノ支拂ナル場合トニ依リ異ナル全部支拂ノ場合ハ手形ノ支拂ハ手形ト引換ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ必要トセス(第四八三條第一項)然レトモ是レ單ニ支拂ヲ爲ス者ノ權利ニシテ義務ニ非ナルヲ以テ若シ支拂人カ引換ナシニ支拂ヲ爲シタルトキハ再支拂ノ危險ヲ負擔セサルヘカラス尚ホ支拂ニ付テハ支拂ヲ爲ス者ハ所持人ヲシテ手形ニ支拂ヲ受ケタル旨ヲ記載セシメ且之ニ署名セシムル權利ヲ有ス(第四八三條第二項)是レ

支拂ヲ爲シタルカ爲メニ自己カ手形ヲ所持シタルコト並ニ何人ヨリ其手形ヲ取得シタルヤヲ詳ニスルノ必要アルヲ以テナリ

一部支拂ノ場合ニハ所持人ハ一部ノ支拂アリタル旨ヲ爲替手形ニ記載シ且其謄本ヲ作成シ署名ノ後ニ支拂ヲ爲ス者ニ交付スルヲ要ス故ニ一部支拂ノ場合ニ於テ支拂ヲ爲シタル者ノ手中ニ存スルモノハ其旨ヲ記載シタル謄本ニ止マルモノニシテ爲替手形ハ依然所持人ノ手中ニ存在ス蓋シ所持人ハ殘部ニ付テ前者ニ對シ償還請求ヲ爲スノ必要アリ而シテ償還ヲ請求スルニ付テハ爲替手形ヲ送付シテ之ヲ引換ヘサルヘカラス此目的ヲ達スル爲メニハ所持人ニ於テハ尚ホ本手形ヲ必要トスレハナリ又一方ニ於テ一部支拂ノ證明ハ其旨ヲ記載シタル謄本ヲ以テ足ルカ故ナリ(第四八四條第二項)

手形金額ノ供託　手形金額ノ支拂ハ滿期日ニ始マリ支拂拒絶證書作成期間内ハ所持人ニ於テ償還請求權ヲ失フコトナクシテ有效ニ支拂ヲ請求スルコトヲ得ト雖モ此期間ヲ經過スルモ尚ホ所持人カ支拂ヲ請求セサルトキハ引受人ハ拒絶證書作成期間ノ經過シタル後ニ手形金額ヲ供託シテ支拂義務ヲ免ルルコトヲ得即チ此方法ニ依リテ拒絶證書作成期間經過後ニ引受人ハ危險ノ負擔ヲ免ルルコトヲ得

第二部　爲替手形ノ複雜ナル法律關係

第一章　手形ノ保證

第一節　保證ノ方式

保證ノ方式ハ恰モ裏書ト同樣ニシテ爲替手形其モノ又ハ其謄本又ハ補箋ニ保證ノ爲メニ署名スルニ在リ保證ニ亦手形行爲ナルヲ以テ一定ノ書面ニ署名ヲ要スルコトハ當然ナリ(第四九七條)

爲替手形ノ保證ハ其形式ヨリ謂フトキハ從タル債務ナリ故ニ保證ノ成立スルニハ必ス主タル債務者ノ署名アルコトヲ要ス若シ手形ニ主タル債務者ノ署名ナキトキハ保證ハ成立セス若シ此ノ如キ場合ニ保證人ノ署名ニ添ヘテ特定ノ主タル債務者ノ爲メニ保證スルコトヲ記載スルモ保證ハ主タル債務者ノ署名ナキカ爲メニ其目的ヲ達スルコトヲ得ス若シ其主タル債務者タルヘキ者カ振

出人タルベキ者ナルトキハ縱令保證人ノ署名アルモ手形ハ振出人ナキ為メニ根本ヨリ無效ナリトスト何トナレハ保證ハ爲メ署名ナルコトハ手形上ニ明瞭ナル以上ハ保證人ヲ以テ振出人ト間フコトヲ得サレハナリ

第二節　保證ノ效力

前節ニ於テハ手形ノ保證カ成立スヘキ形式上ノ要件ヲ述ヘタリ即チ此要件ヲ具備スルトキハ保證モ亦實質上成立スヘシ第四百九十七條ノ規定ニ依レハ此要件ヲ具備スル以上ハ主タル債務カ無效ナルトキ雖モ主タル債務者ト同一ノ責任ヲ負フヘキ旨ヲ規定スレハナリ此點ハ普通ノ保證ト著シク異ナル點ニシテ即チ普通ノ保證ニ於テハ其成立要件トシテ主タル債務カ實質上存在スルコトヲ要シ若シ主タル債務カ無效ナルトキハ保證モ亦無效ト爲リ主タル債務カ取消シ得ヘキトキハ保證モ亦取消シ得ヘキモノナリト雖モ之ニ反シテ手形債務ノ保證ハ主タル債務カ無效ナルトキト雖モ保證人ハ其責ヲ免ルルモノニ非ス要スルニ手形保證ノ成立ニハ形式上主タル債務者ノ署名ヲ要スト雖モ其主タル債務ハ實質上存在スルコトヲ要セス故ニ此點ニヲ論スルトキハ手形ノ保證ハ實質上獨立ノ債務ナリ

保證人ノ責任ノ程度ハ主タル債務者ノ責任ノ程度ト同一ナリ故ニ振出人ノ爲メニシタル保證人ハ振出人ノ後者ニ對シテ手形上ノ責任ヲ負フ引受人ノ爲メニスル保證人ハ手形當事者全員ニ對シテ支拂義務ヲ負擔ス中間ノ裏書人ノ爲メニスル保證人ハ其裏書人ノ後者全員ニ對シテ手形債務ヲ負擔ス又一部引受人ノ保證人ハ其一部分ニ付キ支拂義務ヲ負擔ス

保證ヲ爲スニ當リテ保證ノ爲メニ署名ナルコト明ナルモ何人ノ爲メニ保證ヲ爲シタルカ不明ナル場合ニ於テハ引受アリタルトキハ引受ノ爲メニスル保證ト看做シ未タ引受アラサリシトキハ振出人ノ爲メニ保證シタルモノト看做ス（第四九八條）

第三節　手形保證ノ遡及權

手形保證人カ其債務ヲ履行シタルトキハ手形所持人カ主タル債務者ニ對シ

有セシ權利並ニ主タル債務者カ其前者ニ對シテ有スヘキ權利ヲ取得ス(第四九九條)例ヘハ裏書人ノ爲メニ保證シタルニ支拂ナカリシ爲メニ保證人カ償還請求ニ應シタルトキハ其裏書人ニ對シテ償還請求ヲ爲シ得ヘク若シ之ヲ拒絶サルルトキハ更ニ其前者ニ對シテ償還請求ヲ爲スコトヲ得要スルニ保證人カ其義務ヲ履行シタルトキハ遡及權ヲ取得スト雖モ所持人又ハ主タル債務者ノ權利ヲ承繼スルニ過キス獨立固有ノ遡及權ヲ有スルモノニ非ス隨テ主タル債務者ハ所持人ニ對シテ有セシ抗辯ヲ以テ保證人ニ對抗スルコトヲ得ヘク又主タル債務者ノ前者ハ主タル債務者ニ對シテ有スル抗辯ヲ以テ保證人ニ對抗スルコトヲ得

第二章　爲替手形ノ複本及ヒ謄本

爲替手形ノ使用上安全ヲ圖ルカ爲メ又一ニハ流通ノ便利ヲ圖ルカ爲メニ手形中特ニ爲替手形ニ付テ複本及ヒ謄本ノ制度ヲ設ケタリ爲替手形ノ複本トハ互ニ代用スルコトヲ得ル二箇以上ノ手形ヲ謂フ故ニ複本ヲ作成シタル場合ニハ

各爲替手形ハ全然同一ノ內容ヲ有セサルヘカラス即チ例ヘハ手形金額滿期日其他手形當事者カ何レモ同一ナルコトヲ要ス此等ノ多數ノ手形ハ形ノ上ヨリ言ヘハ多樣ナリト雖モ其權利關係上全部合セテ一ノ手形ノ效用ヲ爲スモノトス先ツ複本ニ付テ安全ノ爲メニスルモノハ例ヘハ極メテ遠隔ナル地ニ爲替手形ヲ送付シテ引受又ハ支拂ヲ求メントスル場合ニ二箇以上ノ同一體樣ノ手形ヲ作成シ時ヲ異ニシ又ハ線路ヲ異ニシテ各〻一通宛ヲ目的地ニ送付セハ其中何レノ一通カ到達スルコトアラハ即チ其一通ヲ以テ支拂又ハ引受ヲ求ムルコトヲ得此場合ニハ他ノ各通ハ效力ヲ失フ又流通ノ便利ノ爲メニスルモノハ例ヘハ遠隔ノ地ニ向テ引受ヲ求ムル爲メニ手形ヲ送付シ一方ニ於テハ複本ノ一ヲ以テ裏書ノ用ニ供シ引受ノ爲メニ送付シタル手形ノ返還ヲ待タスシテ直チニ手形上ノ權利ヲ他人ニ移轉スルコトヲ得

爲替手形ノ流通ノ便利ヲ圖ルニハ複本ノ外ニ又謄本ヲ以テ其目的ヲ達スルコトヲ得謄本ハ單ニ原本ノ謄寫ニシテ所持人カ自由ニ之ヲ作成スルコトヲ得若シ手形ノ所持人カ引受ヲ求ムル爲メニ原本ヲ引受人ニ送付シ一方ニ於テハ同

時ニ手形上ノ權利ヲ讓渡セントスルトキハ即チ自ラ謄本ヲ作成シテ其謄本ニ依リテ裏書讓渡ヲ爲スコトヲ得

第一節　爲替手形ノ複本

第一款　複本ノ作成

複本ノ作成ハ第五百十八條ヲ以テ之ヲ規定セリ爲替手形ノ複本ハ其謄本ト異ナリ必ス振出人自ラ之ヲ作成スヘキモノナリ其作成ハ所持人ノ請求ニ依リテ爲スモノニシテ而モ所持人カ之ヲ請求スルニハ直接ニ振出人ニ對シテ複本ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス必ス順次ニ前者ヲ經由シテ遂モ振出人ニ對シテ之ヲ請求ス次ニ振出人カ其請求ヲ受ケタルトキハ其請求スル數ニ從ヒテ複本ヲ作成シ之ヲ所持人ニ交付スル義務ヲ負フ振出人ハ此ノ如ク複本ヲ作成シタルトキハ其手形ノ複本タルコトヲ明瞭ニ示スコトヲ要ス即チ普通ニ第一號第二號第三號ト云フ如ク表示ヲ爲ス然レトモ複本タルコトヲ表示スル方法ニ付テハ我手形法ニハ何等ノ制限ナキヲ以テ如何ナル方法ヲ以テスルモ複本タルコトノ明瞭ナル以上ハ複本タル效力ヲ生スルヲ妨ケス若シ振出人カ明瞭モ複本タルコトヲ表示セサルトキハ各、複本ハ各獨立ノ爲替手形タル效力ヲ生ス(第五一九條)何トナレハ此ノ如ク表示ナキ場合ニハ手形取引ヲ爲ス者ハ一箇ノ手形ノ爲メニ多數ノ手形カ作成セラレタルコトヲ知ルニ由ナク手形面記載ノ文言ニ從ヒテ各、獨立ノ爲替手形ト看做スハ當然ナルヲ以テナリ最後ニ振出人カ複本ヲ發行シタルトキハ各裏書人ハ順次ニ之ニ裏書ヲ爲シテ複本ノ請求者タル所持人ニ之ヲ交付スルコトヲ要ス

第二款　複本ノ請求權

複本ノ交付ヲ請求スル權利ハ法律カ無制限ニ各手形所持人ニ付與シタル權利ナルヲ以テ爲替手形ノ振出人ハ複本ノ交付ノ請求ヲ受ケタルトキハ其希望スル數ノ複本ヲ交付スルノ義務ヲ負フ其交付ノ義務ハ振出當時ニ受取人トノ間ニ複本交付ノ契約ノ存在ノ有無ニ拘ハラス換言スレハ複本ノ交付ハ契約上ノ義務ニ非スシテ法律上當然負擔スヘキ義務ナリ故ニ最初受取人カ一通ノ手

形又ハ或定マリタル數ノ手形ヲ以テ滿足シタル場合ト雖モ其後ノ所持人ハ其レ以上ノ複本ヲ請求スルコトヲ妨ケス何トナレハ手形法ニ複本ノ數ニ付テハ何等ノ制限ナキヲ以テナリ

此複本ノ制度ハ爲替手形ニ限ルモノニシテ他ノ二ツノ手形ニハ存在セス其理由ハ先ツ小切手ニ付テ觀レハ小切手ハ元來支拂ノ便法トシテ設ケラレタルモノニシテ爲替手形ノ如ク流通ノ爲メニ設ケラレタルモノニ非ス隨テ新商法ニ於テハ其支拂期限モ其振出ノ日ヨリ一週間内ニ限レリ此等ノ性質ヨリシテ小切手ニハ上來述ヘタル如ク複本ヲ設クル必要ナシ又約束手形ニ付テ之ヲ觀レハ此手形ニ在リテハ振出ノ當初ヨリシテ爲替手形ノ引受人ニ相當スヘキ振出人カ支拂ノ主タル債務者トシテ存在ス隨テ爲替手形ニ於ケルカ如ク改メテ引受ヲ求ムルノ必要ナシ此點ニ於テ複本ノ必要ヲ認メス

第三款　複本相互ノ關係

各複本ハ何レモ曾原手形ト同一ノ效力ヲ有ス普通ニハ第一ニ振出シタル手形

ヲ原手形ト謂フモ是レ唯名稱ニ過キスシテ其他ノ各複本ハ效力ニ於テ原手形ト異ナルコトナシ故ニ複本ヲ作成シタル場合ニハ單一ニシテ同一ナル手形義務ノ多數ノ根本的ノ證書カ成立シタルモノト謂フコトヲ得此等ノ多數ノ證書ハ全ク同一ノ手形行爲ノ生産物ナリ即チ同一ノ金額同一ノ滿期日其他總テノ手形ノ内容ニ於テ同一ナラサルヘカラス是レ即チ複本カ複本トシテ手形ノ使用上重大ナル效用ノ存スル所ニシテ手形ノ取得者ハ其複本ノ何レノ一通ニテモ受取ルニ躊躇セス隨テ一ヲ以テハ引受ヲ求メ一ヲ以テハ手形上ノ權利ヲ裏書スルコトヲ得而シテ支拂ヲ請求スルニ付テハ複本ノ所持人ハ他ノ總テノ複本ヲ呈示スルコトヲ要セス又他ノ複本カ何人ノ手ニ在ルヤヲ說明スルコトヲ要セスシテ唯一通ノ複本ヲ以テ支拂ヲ請求スルコトヲ得又支拂人モ複本ノ番號ノ順次ヲ檢査スルコトヲ要セス先ツ自己ノ手ニ入リタル複本ヲ支拂フトキハ之ト同時ニ他ノ複本ハ悉ク消滅ス此點ハ即チ複本ノ消滅ニ關スル一大原則ナリ何トナレハ元來手形ノ書面トシテハ形式上數多ノ手形アルモ實質上手形義務ハ同一ニシテ且單一ノモノナリ此同一ニシテ而モ單一ナル義務ヲ表面ニ

現ス爲メニ便宜上二通以上ノ手形ヲ作成シタルニ過キサルヲ以テ一通ノ複本ヲ支拂ヒテ實質上一ナル所ノ義務ヲ履行セハ他ノ複本ノ各通カ效力ヲ失スル當然ナリ然レトモ若シ複本ニ引受ヲ爲シタル者アリシトキハ縱令他ノ引受ナキ複本ヲ支拂フトモ之カ爲メニ引受アル複本マテ消滅セシムルコトヲ得ス蓋シ引受ヲ爲シタル以上ハ引受人ハ之ニ依リテ手形上ノ義務ヲ負擔スルヲ以テ他ノ複本ヲ支拂ヒタルカ爲メ直チニ引受ノ義務ヲ消滅セシムルコトヲ得ス故ニ複本ノ一ニ引受アル場合ニハ手形ノ支拂人ハ先ツ引受アル複本ヲ支拂フヲ以テ安全トス(第五二〇條第一項但書)複本ハ互ニ代用スルコトヲ得ルモ手形カ證書債權ナル結果ヨリシテ形式上其記載ノ事項ハ各箇ノ複本ニ付テ決定セサルヘカラス故ニ複本ノ流通ニ於テハ彼此複本ノ間ニ記載事項ヨリシテ多少效力ニ差異ヲ生スル場合アリ何トナレハ複本ハ其形ヨリ言ヘハ其各複本ヲ集メテ始メテ完全ナル一ノ手形ヲ形成スヘキモノニ非ス各一枚ノ複本カ獨有ニ手形タル效力アルモノナルヲ以テ其複本ニ依リテ手形上ノ權利ヲ主張セントスル者ハ必ス其特定ノ複本ノ記載事項ニ依リテ主張セサルヘカラス例ヘ

ハ第一ノ手形ニ引受アリタルトキ引受ノ記載ナキ第二ノ手形ヲ以テ引受人ニ對シテ權利ヲ主張スルコトヲ得ス又第二ノ手形ニ裏書アリタル其裏書ナキ第一ノ手形ヲ以テ裏書人ニ對シテ手形上ノ權利ヲ請求スルコトヲ得ス之ヲ要スルニ複本ノ記載事項ハ互ニ相補充スルコトヲ得ス[illegible]以上述ヘタル手形ノ複本ハ手形ノ權利關係ヨリ言ヘハ其數ノ多少ニ拘ハラスシテ全部合シテ一箇ノ手形ノ如ク看做サレ隨テ唯一ノ手形義務ヲ示スモノニ外ナラストノ原則ハ其複本カ順調ニ於テ同一ノ當事者間ニ流通スル場合ヲ謂フ若シ複本流通ノ際ニ不正ノ手段ニ依ルカ又ハ錯誤ニ基キテ各別ノ人ニ複本カ流通スルコトト爲ルトキハ此原則ニ對シ例外ヲ生ス第五百二十條第二項ニ二人以上ニ各別ニ數通ノ爲替手形ノ裏書ヲ爲シタル者又ハ數通ノ爲替手形ニ引受ヲ爲シタル者ハ支拂ノ時ニ返還セサル各通ニ付キ手形上ノ責任ヲ免ルルコトヲ得サルコトヲ規定セリ故ニ複本カ所謂獨立別箇ノ手形トシテ效力ヲ生スル場合ハ一ハ裏書人カ各別ノ人ニ裏書ヲ爲スカ一ハ引受人カ數通ノ爲替手形ニ引受ヲ爲シタル場合ニシテ何レモ手形ノ返還ヲ得サリシ場合ニ限ル而モ

此等ノ裏書又ハ引受ハ敢テ之ヲ出タサルトキハ錯誤ニ出タルモノトシテ之ヲ撤回スルコトヲ得ルモノトスルトキハ此等ノ裏書若クハ引受ハ爲替手形ノ謄本ニ限ルモノトシ之ヲ其以前ノ者ハ之カ爲メニ二重ノ義務ヲ負擔スヘキ理由ナシ

第四款　複本ノ流通

複本ノ制度ハ要全ノ爲メニ設ケアルト同時ニ流通ノ便宜ヲ圖ル一ノ方法ナリ即チ一通ヲ以テハ手形ノ引受ヲ求ムル他ノ一通ヲ以テハ其手形ヲ裏書ノ用ニ供ス此目的ヲ達スルニハ複本ノ所持人ハ其手形ノ引受ヲ求ムル爲メニ支拂地ニ於ケル一定ノ代人ニ之ヲ送付スル而シテ其代人ヲシテ手形ヲ支拂人ニ呈示シテ引受ヲ求メシム此場合ニハ所持人ハ他ノ各通ノ複本ニ引受ヲ求ムル爲メニ送付シタル手形ノ送付先ヲ記入セサルヘカラス例ヘハ第一號ノ手形ハ引受ヲ求ムルカ爲メニ何地ノ何某ノ手ニ在ルヤトヲ明示スルヤトヲ要ス其必要ハ第二號以下ノ手形ノ讓受人ヲシテ第一號手形カ果シテ何人ノ手ニ在ルカヲ知ラシ

メ其手形ノ返還ヲ請求スル人ト處トヲ示ス大抵此記載ヲ名ケテ寄託附記ト謂フ此寄託附記アル手形ヲ讓受ケタル所持人ハ其記載ニ依リテ第二號ノ手形ハ何人ノ手ニ在ルカヲ知ルヲ以テ直接ニ其人ニ對シテ第一號手形ノ返還ヲ請求シ其寄託ヲ受ケタル者ヨリ手形ヲ返還シタルトキハ此時ニ至リテ始メテ全部ノ手形ヲ手ニ入ルルコトヲ得之ニ依リテ支拂ヲ求メ又ハ全部ヲ纏メテ讓渡スコトヲ得ルニ至ル然ルニ寄託ヲ受ケタル者ハ返還ノ請求ニ應セサル場合アリ此場合ニハ所持人ハ第一號手形ノ返還ヲ請求シタルモ寄託ヲ受ケタル者カ之ニ應セサル旨ヲ拒絶證書ニ依リテ證明スルノ外ニ他ノ一通又ハ數通ノ爲替手形ヲ以テスルモ仍ホ支拂人ヨリ引受ヲ得サルカ又ハ支拂ヲ得サリシ旨ヲ拒絶證書ヲ以テ證明スルニ非サレハ其前者ニ擔保又ハ償還ヲ請求スルコトヲ得ス

第二節　爲替手形ノ謄本

爲替手形ノ謄本ハ單ニ原本ノ謄寫ニ過キサルモノニシテ其主タル作用ハ原本ノ如何ナルモノナルカヲ示シ且之ヲ以テ流通ノ便利ヲ圖ル用ニ供ス第五百二十

十二條ヲ以テ謄本ノ作成ニ關スルコトヲ規定セリ即チ本條ノ規定ニ依レハ謄本ノ作成ハ複本ノ作成ト異ナリ所持人自ラ任意ニ之ヲ作成スルコトヲ得複本ノ作成ニ付テハ獨リ振出人ニ限リテ之ヲ爲スコトヲ得且其作成ヲ請求スル手續モ煩雜ナルコト前述ノ如シ次ニ謄本ノ效力ニ付テモ亦複本ト著シク異ナル點アリ複本ハ何レモ獨立ノ手形タリ得ルモノニシテ之ニ依リテ引受又ハ支拂ヲ求ムルコトヲ得ルノミナラス併セテ裏書ノ用ニ供スルコトヲ得ルモ謄本ハ如何ナル場合ニ於テモ決シテ獨立ノ手形タル效力ヲ有セス原本ト相俟チテ始メテ其作用ヲ爲スモノニシテ其主タル效用モ裏書ニ依リテ手形ノ流通ヲ容易ナラシムルニ過キス複本ノ如ク之ヲ以テ引受又ハ支拂ヲ求ムルコトハ爲シ得サル所ナリ故ニ謄本ヲ作成シタル場合ニ於テ引受ヲ求ムル爲メニ送付スヘキモノハ必ス原本タラサルヘカラス

手形ノ裏書又ハ保證ハ謄本ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ得隨テ謄本ニ記載シタル事項ト原本ニ記載シタル事項ト異ナル場合ヲ生ス即チ謄本ニハ原本ニ記載シタル事項ノ外原本ニ記載ナキ裏書又ハ保證ノ記載アル事ナシトセス其場合ニハ原本ニ記載シタル事項ト區別シテ謄本ノ記載ヲ明瞭ナラシムルコトヲ要ス(第五二二條第二項)所持人カ謄本ヲ作成シテ原本ヲハ引受ヲ求ムル爲メニ送付シタルトキハ其作成シタル謄本ニ原本ハ引受ヲ求ムル爲メニ何人ノ手ニ在ルヤヲ記載セサルヘカラス(第五二三條第一項)謄本ノ所持人ハ此記載ニ依リテ原本カ何人ノ手ニ在ルヤヲ知ルヲ以テ直接ニ其人ニ對シテ原本ノ返還ヲ請求スルコトヲ得(同條第二項)然ルニ若シ寄託ヲ受ケタル者原本ヲ返還セサルトキハ謄本ノ所持人ハ謄本返還拒絶證書ニ依リテ其返還ヲ得サリシ事實ヲ證明スレハ謄本ニ署名シタル者ニ對シテ擔保ノ請求ヲ爲スコトヲ得又其謄本ニ記載シタル滿期日カ到來シタル後ハ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得(第五二四條)故ニ原本取戻ノ行爲ハ謄本ヲ以テスル擔保請求又ハ償還請求ノ條件ナリ然レトモ複本ノ場合ト異ナリテ他ノ一通又ハ數通ヲ以テ引受又ハ支拂ヲ受クルコトヲ得サリシコトヲ拒絶證書ニ依リテ證明スルノ必要ナシ又謄本ニ依リテ擔保又ハ償還ノ義務ヲ負擔スル者ハ其謄本ニ署名シタル者ニ限ル其以外ノ前者ハ此ノ如キ義務ヲ負擔セス是レ亦複本ト異ナル點ナリ而シテ謄本ニ署名シタル者トハ

裏書人又ハ保證人ノ外ナル者ヲ以テ署名シタル者ハ謄本ニ署名シタル者ハ謄本ニ依ル遡及權ト原本ニ基ク遡及權トハ差異ハ謄本ヲ以テスル遡及權ハ之ヲ行使スルニハ左ノ事實アルコトヲ要ス

一　引受ヲ求ムル爲メニ送付シタル爲替手形ノ返還ヲ請求シタルコト

二　一ノ請求ヲ爲シタルモ其返還ヲ得サリシコト

三　以上一二ノ事實ヲ拒絕證書ニ依リテ證明スルコト

四　謄本ニ記載スル滿期日カ到來スルコト

以上ノ事實アレハ謄本ノ所持人ハ其謄本ニ署名シタル者ニ對シテ償還請求ムルコトヲ得之ハ一般ノ本手形ヲ以テスル償還請求ノ手續ト異ナレリ元來一般ノ償還請求ニ付テハ(一)滿期日又ハ其後二日以內ニ支拂ヲ求ムル爲メニ爲替手形ヲ呈示スルコト(二)呈示スルモ支拂ヲ得サリシコト(三)以上一二ノ事實ヲ支拂拒絕證書ニ依リテ證明スルコト(四)其拒絕證書ハ滿期日又ハ其後二日以內ニ作成セシムルコト(五)拒絕證書作成ノ翌日マテニ償還請求ノ通知ヲ發スルコト以上ノ手續ヲ要ス若シ所持人カ此等ノ手續ヲ一ツタモ怠ルトキハ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ然ルニ謄本ノ場合ニ於テハ一般ノ償還請求ハ一ト二トノ手續ヲ要セス蓋シ支拂ハ爲替手形其モノニ依リテ請求スルコトヲ得ルノミニシテ謄本ヲ以テハ支拂ヲ請求スルコトヲ得ス又謄本ニ依ル償還請求ハ謄本ニ記載セル滿期日到來セル後ハ何時ニテモ之ヲ爲スコトヲ得ルモノニシテ必スシモ滿期日又ハ其後二日以內ニ拒絕證書ヲ作成セシムル必要ナシ又其請求スルニ付テモ別ニ期限ノ定ナシ此ノ如クナルヲ以テ謄本ニ依ル償還請求ニ付テハ偶所持人カ手續ヲ怠ルモ後ニ之ヲ補充スレハ可ナリ一般ノ償還請求ノ如ク嚴格ナル制限ニ從フ必要ナシ普通ノ償還ニ於テハ償還ヲ爲ス者ハ爲替手形支拂拒絕證書及ヒ償還計算書ト引換ニ非サレハ償還ヲ爲スコトヲ要セス然ルニ謄本ヲ以テスル償還ニハ何等ノ規定ナキヲ以テ民法第四百八十六條及ヒ第四百八十七條ノ規定ニ依リテ償還ヲ爲ス者ハ償還ノ請求者ヨリ受取證書ヲ徵シ又ハ謄本ヲ返還セシムルコトヲ得ルニ過キス

第三章　爲替手形ノ變調ナル法律關係

第一節　爲替手形ノ遡及權

是マテ述ヘタル所ハ爲替手形ヲ振出サレタヨリ其消滅ニ至ルマテノ流通ノ上ニ何等ノ故障ナキ場合ノミナリ然ルニ爲替手形ハ其流通ノ際ニ於テ引受ヲ得ナルカ爲メ又ハ支拂ヲ得ナルカ爲メニ其行動ニ變化ヲ來スコトアリ其變動ハ所謂手形ノ遡及權ナルモノニ基ク手形ノ遡及權トハ即チ擔保請求權及ヒ償還請求權ノ二ヲ指ス第一ノモノハ手形ノ引受ナキ場合ニ發生シ第二ノモノハ其支拂ナキ場合ニ發動スルモノナリ

第一款　擔保請求權

爲替手形ノ振出人及ヒ裏書人ハ其手形ノ引受及ヒ支拂ニ付テ法律ノ規定ニ依リテ當然之ヲ擔保ス今若シ手形ノ流通ニ際シテ所持人カ支拂人ニ對シテ引受ヲ求メタルニ豫期シタル引受ヲ得サリシトキハ手形ノ信用ハ頗ル不確實ト爲リテ或ハ到底滿期日ニ至リテ支拂ヲ得サルヤノ疑念ヲ發生シ隨テ手形ノ流通

上ニ大ナル妨害ヲ與フ故障ヲ除ク爲メニ所持人カ前者ハ手形金額ノ支拂ニ付テ相當ノ擔保ヲ供セサルヘカラス所持人ハ此ノ如キ場合ニ於テハ前者ノ何レニ對シテモ擔保ヲ供スヘキコトヲ請求スルコトヲ得

第一項　擔保請求ノ場合

擔保請求ノ場合ハ大別シテ二トナル一ハ引受ナカリシ場合二ハ引受アルモ其引受人カ破產シタル場合是カリ

第一　引受ノ欠缺ニ基ク擔保請求權

支拂人カ爲替手形ノ引受ヲ爲サヽリシトキ又ハ手形金額一部分ノミニ付テ引受ヲ爲シタルトキハ擔保請求權發生ス即チ全部ノ引受ヲ爲サヽリシトキハ其全部ニ對シ一部分ノ引受アル場合ニハ其殘額ニ對シテ相當ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得(第四七四條)前者ナル裏書人カ所持人ヨリ擔保請求ノ通知ヲ受ケタルトキハ自己ノ前者ニ對シテ自己カ擔保スヘキ金額及ヒ費用ニ付キ相當ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得(第四七六條)

第二　引受人カ破產ノ宣告ヲ受ケタル場合ノ擔保請求權

此場合ハ既ニ引受人アルヲ以テ通常擔保ヲ請求スベキ理由ナシト雖モ其引受人カ破產ノ宣告ヲ受ケタルトキハ手形ノ所持人ハ頗ル不安全ノ地位ニ立ツモノナルヲ以テ其手形ノ信用ヲ維持スル爲メニ相當ノ擔保ヲ供セシメタルベカラス若シ相當ノ擔保ヲ供セス或ハ全タ其手形ニ豫備支拂人ナキ場合又ハ豫備支拂人アルモ其者カ單純ナル引受ヲ爲サヽリシトキニ限リ所持人ハ前者ニ對シテ擔保請求權ヲ行使スルコトヲ得(第四八〇條)

所持人ハ右ノ手段ヲ採ルニ付テハ拒絕證書ヲ作成セシメテ一般ノ擔保請求ニ於ケルカ如ク前者ニ對シ擔保請求ノ通知ヲ發セサルベカラス而シテ此請求ヲ受ケタル前者即チ裏書人ハ更ニ自己ノ前者ニ對シテ擔保スヘキ金額並ニ其費用ニ對シテ相當ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得

第二項　擔保請求ノ手續

(一)　支拂人カ爲替手形ノ引受ヲ爲サヽルカ又ハ一部分ノミヲ引受ヲ爲シタル

場合ニハ所持人ハ引受拒絕證書ヲ作成セシメテ擔保ヲ供セシメントスル前者ニ對シテ遲滯ナク擔保請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

(二)　裏書人カ擔保ノ請求ヲ爲スニハ其前者ニ對シテ遲滯ナク擔保請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス(第四七五條第四七六條)

(三)　引受人カ破產ノ宣告ヲ受ケタル場合ノ擔保請求手續ハ右ニ述ヘタル(一)(二)ノ手續ニ準ス(第四八〇條第二項)

以上三ノ手續ニ通シテ必要ナルハ擔保請求ノ通知ナリ此通知ハ遲滯ナク發スルニ非サレハ縱令引受ナキ場合ト雖モ前者ハ擔保ヲ供スルヲ要セス蓋シ通知ノ義務ヲ法律ニ認メタル所以ハ前者カ突然ニ擔保請求ヲ受ケタルコトナキカ爲メニ設ケタルモノナリ即チ前者ヲシテ擔保ヲ提供スルニ付テ準備期間ヲ與フルノ趣意ナリ又此通知ノ發送ハ嚴格ナル期間ノ定ナシト雖モ遲滯ナク之ヲ發送スルコトヲ要ス尙ホ通知ノ形式ニ付テハ何等ノ制限ナキヲ以テ如何ナル方法ヲ以テ之ヲ發スルモ妨ナシ即チ書面又ハ使者ヲ以テスルモ此要件ニ缺クル所ナシ

通知ノ效力ニ付テハ第四百七十八條第二項ヲ以テ特ニ之ヲ規定ス即チ其通知ヲ受ケタル者ノ後者全員ノ爲メニ通知シタルモノト看做ス故ニ一名ヒ擔保請求ノ通知ヲ爲シタル以上ハ同一人ニ對シ二重ノ通知ヲ發スルノ必要ナク其結果擔保請求ノ通知ヲ發シタル者カ擔保ヲ請求セスシテ引受拒絶證書ト共ニ又ハ引受拒絶證書ヲ作ラスシテ其手形ヲ裏書シタル場合ニハ其裏書人又ハ其後者ハ最初通知ヲ受ケタル者ニ對シテハ更ニ之ヲ發スルヲ要セスシテ擔保ヲ請求スルコトヲ得

第三項　擔保ノ設定

第四百七十七條ノ規定ニ依レハ擔保ノ請求ヲ受ケタル者ハ相當ノ擔保ヲ供セサルヘカラス但之ヲ提供スルニ付テハ遲滯ナク引受拒絶證書ト引換ニ供スヘキモノナリ又他ノ方法ハ擔保ニ代ヘテ相當ノ金額ヲ供託スルコトヲ得今左ニ之ヲ分說セン

(一) 供スヘキ擔保ハ相當ナルヲ要ス擔保ノ程度ハ相當ナルヲ以テ足ル

別ニ手形金額ニ對スル率ヲ定メタル規定ナキヲ以テ其當時ノ事情ニ依リ手形金額ニ對シテ適當ナリト認ムル所ノ擔保ヲ供スルヲ以テ可ナリトス又其供スヘキ擔保ノ種類ハ何等ノ制限ナキヲ以テ質權、抵當權又ハ對人擔保ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

(二) 擔保スヘキ額ハ全部ノ引受ナキトキハ手形金額及ヒ費用ニ對シ一部引受ノ場合ニハ其殘額並ニ費用ニ對シ裏書人ニ對スル場合ニハ其裏書人カ擔保スヘキ金額並ニ費用ニ對シテ相當ノ擔保ナルコトヲ要ス

(三) 擔保ヲ設定スル手續トシテハ擔保義務者ハ引受拒絶證書ト引換ニ非サレハ之ヲ設定スルコトヲ要セス故ニ擔保請求者カ引受拒絶證書ヲ交付セサル場合ニハ前者ハ擔保ノ設定ヲ拒ムコトヲ得

第四項　擔保設定ノ效力

前者カ所持人ノ請求ニ應シテ擔保ヲ供シ又ハ供託ヲ爲シタルトキハ其擔保ノ效力ハ單ニ其請求ヲ爲シタル特定ノ所持人ノ爲メニノミ又其所持人ニ對シテ

ノミ發生スルニ止マラスシテ廣ク後者全員ノ爲メニ且其後者全員ニ對シテ擔保ヲ供シタルモノト看做ス(第四七八條第一項後者全員ノ爲メニ供シタルモノト看做サルルカ故ニ例ヘハ茲ニ甲―乙―丙―丁―戊―己―庚―辛―壬ノ如ク裏書アル場合ニ庚ナル者カ所持人ナルトキニ引受ヲ求メタルモ之ヲ拒絶セラレタルカ爲メニ丙ナル前者ニ對シテ擔保ヲ請求シ丙カ擔保ヲ供シタルトキハ其後者全員ノ爲メニ供シタルモノト看做サルルヲ以テ丁以下庚ニ至ル後者ハ勿論庚ナル者カ後日手形ヲ讓渡シ遂ニ壬カ最終ノ所持人タル場合ニ於テ先ツ丙カ供シタル擔保ハ辛ノ爲メニモ供シタリト看做サルルヲ以テ縱令後ニ壬カ更ニ引受ヲ求メテ拒絶セラルルモ既ニ丙カ初メ庚ノ請求ニ應シテ擔保ヲ供シタル以上ハ丙カ再ヒ擔保ノ請求ヲ受クルコトナキハ勿論丁以下ノ者ハ總テ再ヒ擔保ノ請求ヲ受クルコトナシ又後者全員ニ對シテ擔保ヲ供シ又ハ供託ヲ爲シタルモノト看做サルルヲ以テ前例ニ於テ丁以下ノ者ハ總テ其擔保又ハ供託金ノ上ニ權利ヲ有シ隨テ後者ハ總テ支拂ニ付テ擔保ヲ得タルコトナルヲ以テ後者ノ各員ハ何レモ丙以下ノ者ニ對シテハ勿論乙以上ノ者ニ對シテモ二重ニ擔保ヲ請求スルコトヲ得ス

要スルニ前者カ一タヒ擔保ヲ供シタル以上ハ其後者全員ノ間ニハ再ヒ擔保請求ノ關係ヲ起シ得サルナリ

第五項　擔保ノ消滅

一タヒ設定シタル擔保又ハ供託金ハ設定原因ノ消滅又ハ法定期間ノ經過ヲ因リテ消滅シ又之ヲ取戻スコトヲ得(第四七九條)

第一　後日ニ至リ爲替手形ノ單純ナル引受アリタルトキ

擔保請求權ハ手形ノ單純ナル引受ナキ爲メニ發動スルモノナルヲ以テ若シ後日單純ナル引受アルトキハ擔保ノ消滅スヘキハ當然ノ事ナリ

第二　手形金額及ヒ費用ノ支拂アリタルトキ

擔保ノ設定ハ手形金額及ヒ費用ノ支拂ヲ確實ナラシムル爲メニ保證スルモノナルヲ以テ其支拂アルニ至レハ消滅スヘキハ亦當然ノ事ナリ

第三　擔保ヲ供シ若クハ供託ヲ爲シタル者又ハ其前者カ償還ヲ爲シタルトキ

擔保ハ手形金額ノ支拂及ヒ費用ヲ確實ニスベキ爲保證スルモノナルヲ以テ手形金額ノ支拂及ヒ費用ノ支拂アルトキハ一タヒ提供シタル擔保ハ少クトモ存在セサルベカラス而シテ引受ナク且手形金額及ヒ費用ノ支拂ナキニ於テハ竝ニ始メテ償還請求權活動ス此場合ニ於テ擔保ヲ供シタル者若クハ供託ヲ爲シタル者又ハ其前者カ償還ヲ爲シタルトキハ此者ハ後者ハ全然手形上ノ責任ヲ免ルヘキ地位ニ立ツヲ以テ既ニ供シタル擔保ハ之ヲ存在セシムヘキ必要ナケレハナリ然レトモ擔保ヲ供シ又ハ供託ヲ爲シタル者ノ後者カ償還ヲ爲シタルノミニテハ擔保ハ消滅スルモノニ非ス少クトモ此等ノ擔保ヲ供シタル者又ハ其以上ノ者カ償還ヲ爲スコトヲ要ス故ニ前項ノ例ニ於テ丙カ最終ノ所持人壬ノ請求ニ應シテ擔保ヲ供シタル場合ニ後日壬ハ支拂ヲ得サリシカ爲メニ庚ニ對シテ償還ヲ請求シ庚ハ之ニ應シテ償還ヲ爲シタルモ丙カ先ニ供シタル擔保ハ消滅セス然レトモ丙又ハ丙以上ノ前者カ償還ヲ爲シタル場合ニハ丙ノ供シタル擔保ハ全然消滅ス蓋シ庚カ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ庚ハ更ニ前者ニ對シ償還ヲ請求スルコトヲ得ルヲ以テ丙カ後者全員ニ對シテ供シタリト看做

做サレタル擔保ヲ消滅セシムヘキ理由ナシ隨テ此場合ニハ庚ヲシテ丙ト自己ノ中間ニ在ル前者ニ對シ先ニ丙カ供シタル擔保ヲ以テ自己ノ償還請求ノ擔保ニ充テシムルコトヲ得ルモノトス然レトモ丙若クハ丙以上ノ者カ償還ヲ爲シタル場合ニハ此ノ如キ必要ナキヲ以テ擔保ヲ消滅セシムヘシ

第四　手形上ノ權利カ時效又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタルトキ

手形上ノ權利カ時效又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタルトキハ根本ヨリ擔保スヘキ權利ナキヲ以テ擔保モ亦消滅ス

第五　擔保ヲ供シ又ハ供託ヲ爲シタル者カ滿期日ヨリ一年內ニ償還請求ヲ受ケサリシトキ

擔保義務者ヲシテ永タ擔保ノ義務ヲ負ハシムルハ酷ニ失スルヲ以テ滿期日ヨリ一年ヲ經過スルモ仍ホ償還請求ヲ受ケサルトキハ其供シタル擔保ヲ消滅セシム此場合ハ法律ノ規定ニ因リテ擔保ヲ消滅セシムルモノニシテ前述第一乃至第四ノ場合ト其趣ヲ異ニス

引受人ノ破產ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ供シタル擔保カ消滅スヘキ場合ニ付テ

ハ第四百八十一條ヲ以テ之ヲ規定セリ即チ一般ノ擔保ノ消滅スヘキ場合ニ付キ第四百七十九條ニ規定セル第二號乃至第五號ノ事情アル場合ノ外尙ホ左ノ二箇ノ場合ニ於テ消滅ス

第一　豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタルトキ

蓋シ引受人カ破產ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於ケル擔保ノ請求ハ若シ豫備支拂人カ設定シアル場合ニハ其豫備支拂人カ單純ナル引受ヲ爲サヽリシコトヲ以テ條件トセリ隨テ後日ニ至リ豫備支拂人カ單純ナル引受ヲ爲シタル以上ハ供シタル擔保ヲ存在セシムヘキ理由ナシ

第二　引受人カ後日ニ至リ相當ノ擔保ヲ供シタルトキ

引受人カ破產ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ別ニ相當ノ擔保ヲ供セサルトキニ始メテ前者ニ對シ擔保ヲ請求シ得ヘキカ故ニ引受人自身カ後日ニ至リ相當ノ擔保ヲ提供スレハ前者カ供シタル擔保ヲ存在セシムルノ要ナシ

第二款　償還請求權

爲替手形ノ振出人以下ノ前者ハ所持人ニ對シテ引受ナカリシ場合ニ擔保請求ニ應スヘキ義務ヲ負フ外ニ其手形ノ支拂ナキ場合ニハ其不支拂ヨリ生スル一定ノ損害ヲ補償スルノ義務ヲ負擔ス是レ即チ手形法ニ所謂償還ノ義務ナリ此償還ノ義務ニ付テハ之ヲ請求スル人ノ側ヨリ觀レハ手形ノ所持人カ之ヲ請求スル場合ト所持人ヨリ償還ノ請求ヲ受ケタル裏書人カ更ニ前者ニ向テ償還ヲ請求スル場合トノ二アリ

第一項　所持人ノ償還請求

第一　償還請求ノ場合

償還請求ノ發動スル場合ハ即チ爲替手形ノ支拂アラサリシ場合ナリ隨テ其時期ハ少クトモ滿期日以後ナラサルヘカラス

第二　償還請求ノ手續

償還請求權ヲ行使スルニ付テノ手續ハ第四百八十七條ヲ以テ之ヲ規定セリ即チ所持人カ償還ノ請求ヲ爲サントスルトキハ支拂ヲ求ムル爲メニ爲替手形ヲ

支拂人ニ呈示シ若シ手形金額ノ支拂ナキトキハ滿期日又ハ其後二日以內ニ支拂拒絕證書ヲ作ラシメ且償還ヲ爲サシメント欲スル者ニ對シ拒絕證書作成ノ翌日マタニ償還請求通知ヲ發スルコトヲ要ス隨テ償還請求ニハ左ノ條件ヲ要ス

(一)　支拂人ニ手形ヲ呈示シテ支拂ヲ求メタルモ支拂ヲ得サリシコト　手形ノ所持人ハ支拂人ヲ手形ニ呈示シテ支拂ヲ求メサルヘカラス支拂人以外ノ者ニ手形ヲ呈示スルモ償還ノ請求ニ必要ナル手續ヲ盡シタルモノト謂フヘカラス又之ヲ呈示スヘキ期間ハ滿期日又ハ其後二日以內ニシテ此期間ヲ經過シテ手形ヲ呈示シタル場合ニハ償還請求權ヲ行使スルコトヲ得ス又呈示ハ原則トシテ支拂人ニ對シテ呈示スルモノナレトモ他所拂手形ニ於テ支拂擔當者ノ記載アルトキハ支拂擔當者ニ之ヲ呈示セサルヘカラス

償還請求ヲ爲スニ付テ手形ヲ呈示スルハ常ハ人ニ對シテ爲ササルヘカラサルモ若シ之ヲ受クル人カ一定ノ場所ニ在ラサルトキハ拒絕證書ニ其呈示ヲ受クル人ニ面會スルコト能ハサル理由ヲ記載スレハ恰モ人ニ對シテ手形ノ呈示アリタルモノト同樣ニ視ルヘキハ第五百十五條第三號末段ノ規定ニ依リテ明カナリ

呈示ヲ爲スヘキ期間ハ滿期日又ハ其後二日以內ナルモ此期間內ニ大祭日、日曜日其他ノ休業日ニシテ取引ヲ爲ササル慣習日アルトキニ仍ホ其日ニ手形ヲ呈示セサルヘカラサルヤ否ヤノ點ニ付テハ我商法中ニハ營業日ニ限リテ手形ヲ呈示セサルヘカラストスル規定ナキカ故ニ手形ノ呈示ハ問題ノ如キ營業セサル日ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得ルモノト謂ハサルヘカラス

又滿期日又ハ其後二日以內ノ呈示期間ノ末日カ大祭日、日曜日其他ノ休日ニ當リテ其日ニ取引ヲ爲ササル慣習アル場合ニ在リテモ仍ホ手形ノ呈示ヲ爲ササルヘカラサルヤ否ヤノ點ニ付テハ特ニ手形法ニ規定ヲ設ケタルモノナシト雖モ第四百八十七條第一項ノ規定ニ依レハ呈示ノ期間ハ拒絕證書ノ作成期間內ト云フコトニシテ本條ニハ直接ニ拒絕證書作成ノ期間ヲ規定シタルモノニシテ呈示期間ノ制限ハ拒絕證書ノ作成期間ヲ限リタル結果トシテ間接ニ第四百八十七條ヨリ自ラ定マルモノナリ果シテ第四百八十七條カ直接ニ規定スル期

間ノ制限ハ拒絶證書ノ作成期間ナリトセハ拒絶證書ノ作成ハ一ノ取引ト謂フヲ得サルカ故ニ呈示ノ期間ニ付テハ直チニ民法第百四十二條ヲ適用シテ其期間ノ延長ヲ論スルコトヲ得ス

呈示時間ニ付テハ手形法中ニ特ニ規定シタルモノナシ故ニ原則トシテ何時ニテモ之ヲ呈示スルコトヲ得然レトモ商法第二百八十三條ノ規定ニ依リ手形ノ支拂カ債務ノ履行ナルトキハ法令又ハ慣習ニ依リ取引時間ノ定アルトキハ其取引時間内ニ限リ呈示ヲ爲スコトヲ得

次ニ呈示スヘキ書面ハ爲替手形其モノナルコトヲ要ス謄本ヲ呈示スルモ償還請求ニ必要ナル手續ヲ履行セルモノト謂フヘカラス又呈示スヘキ場所ハ第四百四十二條ノ規定ニ依リテ定マル

(二) 支拂拒絶證書ノ作成　支拂ヲ求ムルカ爲メニ爲替手形ヲ呈示シ其支拂カ拒絶セラレタル事實ノミニテハ直チニ償還請求權ヲ行使スルコトヲ得ス其拒絶ノ事實ヲ確實ニ證明スルカ爲メニ一定ノ期間内ニ支拂拒絶證書ナルモノヲ作成スルノ要アリ即チ此書面ハ公證人又ハ執達吏カ手形所持人ノ請求ニ應シテ作成スルモノニシテ支拂カ拒絶セラレタルコトヲ記載セル公證力アル書面ナリ故ニ拒絶證書ヲ以テハ所持人カ法定ノ期間内ニ手形ヲ呈示シタルコトヲ之ヲ呈示シタルモ支拂カ拒絶セラレタルコト並ニ其拒絶證書ノ作成ハ法定ノ期間内ニ作成セラレタルコトヲ明瞭ナラシムルヲ要ス而シテ拒絶證書ノ作成期間ハ滿期日又ハ其後ノ二日以内ナルコトハ前述ノ如シ

支拂拒絶證書作成ノ免除　原則トシテ償還ノ請求ヲ爲スニハ支拂拒絶證書ヲ要スルモ元來拒絶證書ノ作成ハ公益規定ニ非ナレハ必スシモ此證書ニ據ラストモ償還請求權ヲ行使スルコトヲ許セリ是レ即チ第四百八十九條ヲ以テ支拂拒絶證書作成ノ免除ヲ認メタル所以ナリ即チ前者カ一定ノ人ニ對シテ拒絶證書作成ノ義務ヲ免除スル旨ヲ手形ニ記載シタルトキハ其免除ヲ受ケタル者ハ一般ノ拒絶證書ノ方式ニ據ラスシテ他ノ如何ナル證據方法ヲ以テスルモ支拂ナカリシコトヲ證明スレハ其前者ハ償還ヲ爲ササルヘカラス然レトモ元來拒絶證書ノ作成ナルモノハ單ニ前者ノ利益ナルノミナラス償還ヲ請求スル所持人ニ取リテモ最モ確實ナル證據方法ナレハ或前者カ拒絶證書作成ノ義務ヲ免

除シタリトヲ所持人ニ於テ之ヲ作成スヘキ權利ヲ失フモノニ非ス且總令特定ノ前者ヨリ其免除ヲ得ルトスルモ其者以外ノ前者ニ對シテハ尙ホ拒絕證書ヲ作成スルニ非サレハ償還ヲ請求スルコト能ハサルヲ以テ所持人ハ總令特定ノ人ヨリ免除ヲ受ケタルトキト雖モ拒絕證書ヲ作成スルヲ以テ最モ安全ナリトス是レ即チ第四百八十九條第二項ヲ以テ「所持人カ支拂拒絕證書ヲ作ラシメタルトキハ其作成ヲ免除シタル者ト雖モ其費用ヲ償還スル義務ヲ免ルルコトヲ得ス」ト規定セル所以ナリ

拒絕證書ノ作成免除ノ效果ハ單ニ之ヲ免除シタル者ニ對シテ拒絕證書ヲ作成セスシテ償還ヲ請求スルコトヲ得ルニ止マリ之カ爲メニ手形ヲ支拂人ニ呈示スル所ノ義務ヲモ併セテ免除スルノ效果ヲ生スヘキモノニ非ス隨テ拒絕證書ノ作成ヲ免除セラレタル所持人ト雖モ償還ヲ請求スルカ爲メニハ手形ヲ支拂人ニ呈示スルコトヲ必要條件トス又一方ニ於テハ縱令拒絕證書ノ作成ヲ免除シタル場合ト雖モ手形ノ呈示並ニ支拂拒絕ノ事實ヲ證明スヘキ責任マテ全然免除シタルモノト謂フコトヲ得ス拒絕證書作成ノ免除ハ手形ノ呈示並ニ支拂

拒絕ノ事實ヲ拒絕證書ナル書面ニ依リテ爲スヘキ義務ヲ免除シタルモ人ニ進キスシテ總テノ立證責任ヲ免除シタルモノト謂フコトヲ得ス故ニ償還ノ請求ヲ受ケタル者カ呈示並ニ拒絕ノ事實ヲ否認スル場合ニハ所持人ハ其事實ヲ反證スルニ非サレハ到底償還ヲ受クルコトヲ得ス

拒絕證書ノ作成ハ如何ナル書面ニ記載スルコトヲ要スルヤニ付テハ商法中何等ノ規定ヲ有セス前述シタル如ク引受ニ付テハ爲替手形其モノニ記載セサルヘカラス又裏書及ヒ保證ハ同シク爲替手形其謄本又ハ補箋ニ之ヲ記載スルコトヲ得ルハ手形法ニ規定スル所ナリト雖モ拒絕證書作成免除ノ記載ニ付テハ此等ノ規定ナシ故ニ此趣旨ヨリ觀ルトキハ免除ノ趣旨ヲ記載スヘキ書面ニ付テハ特ニ法律ヲ以テ之ヲ制限セサルモノト解セサルヘカラス隨テ手形其レ自身其謄本又ハ補箋ニ免除ノ趣旨ヲ記載シテ手形上ノ效力ヲ生セシムルコトヲ得ト解セサルヘカラス其他免除ハ他ノ書面ヲ以テ爲スモ或ハ口頭ヲ以テモ之ヲ爲スコトヲ得ルモノト謂ハサルヘカラス然レトモ斯ル場合ニ手形上ノ效力ヲ生セサルコトハ言ヲ俟タス

拒絶證書作成ノ義務免除ノ程度ニ付テハ手形法中何等ノ規定ナシト雖モ其免除ヲ手形ニ記載シタル場合ニハ後者全員ニ對シテ之免除ノ效力ヲ生ス若シ又特定ノ人ニ對シテ其作成ヲ免除スヘキコトヲ手形ニ記載シタル場合ニハ其特定ノ人ニ對シテノミ免除ノ效力ヲ生ス

(三) 拒絶證書作成ノ翌日マテニ償還請求ノ通知ヲ發スルコト

以上述ヘタル(一)(二)ノ手續ヲ履行シタルノミニテハ未タ償還請求權ヲ行使シ又ハ之ヲ保全スルノ必要ナル手續ヲ盡タ充タシタルモノニ非ス尚ホ此他償還請求ノ通知又償還ヲ受クル者ニ對シテ發スルコトヲ要ス是レ償還義務者ヲシテ突然償還ヲ請求サルルコトナク相當ノ準備ヲ爲サシムルノ趣意ナリ此通知發送ノ期限ハ拒絶證書作成ノ翌日限ニシテ此期間ヲ經過シタル後ニ在リテハ縱令通知ヲ發スルモ償還請求權ヲ行使スルコトヲ得ス次ニ通知ニ付テ注意スヘキハ通知ハ法定ノ期日マテニ發スルヲ以テ足リ其期間内ニ相手方ニ到達スルコトヲ要セス又通知ノ方式ニ付テハ何等ノ制限ナキヲ以テ書面ヲ以テスルモ口頭ヲ以テスルモ妨ナク又通知ノ效力ニ付テハ擔保請求ノ通知ニ關スル第四百七十八條第

二項ノ規定ヲ償還請求ノ通知ニ準用セラルルヲ以テ後者全員ノ爲メニ爲サルモノト看做サルルモノトス尚ホ拒絶證書作成ノ義務ヲ免除シタル場合ト雖モ同時ニ通知ノ義務ヲモ免除シタルモノト謂フコトヲ得ス

第三　償還ノ目的

償還ノ目的ハ手形所持人ヲシテ其支拂ヲ爲サザリシカ爲メニ必然受クル損害ヲ塡補シ恰モ支拂日ニ支拂地ニ於テ支拂ヲ爲シタルト同一ノ狀態ニ在ラシムルニ在リ然レトモ元來手形ノ所持人ハ常ニ變動スルノミナラス償還義務者ハ手形カ何人ノ手ニ在ルヤヲ知ルコト能ハサルヲ以テ若シ不支拂ヨリ生スル一切ノ損失ヲ補償セシムルニ於テハ其償還金額ハ各人ニ依リ事情ヲ異ニスルヲ以テ區區ト爲ルヘク又ハ意外ノ巨額ニ達スルコトアリ故ニ元來償還ノ趣意ハ成ルヘク不支拂ヨリ生スル損失ヲ補充スルニ在リト雖モ或程度ニ於テ法律ハ以テ之ヲ限定シ一切ノ損失ニ及ハシメス若シ此制限ヲ設ケサルトキハ償還金額ハ如何程ノ巨額ニ達スルヤモ計ラレサルヲ以テ安シテ裏書人トシテ手形ヲ讓渡スコトヲ得サルニ至リ隨テ手形ノ流通ヲ妨ケルノ虞アルニ出ツ十一

為替手形ノ所持人カ前者ニ對シテ償還ヲ請求シ得ル金額ハ第四百九十一條ヲ以テ之ヲ規定ス即チ左ノ如シ

(一)支拂アラサリシ手形金額及ヒ滿期日以後ノ法定利息　蓋シ償還ハ手形金額不支拂ヨリ起ルモノナルヲ以テ支拂アラサリシ手形金額ヲ償還スルハ當然ナリ即チ其金額ハ全部ノ不支拂ノ場合ニハ其全部、一部不支拂ノ場合ニハ其殘額ナリ次ニ滿期日以後ノ法定利息モ償還セサルヘカラス即チ其手形ノ滿期日ヨリ起算シテ年六分ノ利息ヲ附シ償還セサルヘカラス此利息ヲ附スヘキ期間ハ滿期日ニ始マリ實際償還ヲ受クル日マテナリ此利息ノ請求ニ付テ茲ニ一言セサルヘカラサルコトハ本條ニ規定セル利息ハ遲延利子ノ性質ニ非サルコト是ナリ何トナレハ本條ノ規定ニ依レハ縱令手形ノ呈示ハ滿期日ノ後ニ在リシ場合ニ於テモ尙滿期日ヨリノ利子ヲ償還セサルヘカラス若シ遲延利子ナレハ手形ノ呈示アリタリシ以後ノ利息ト規定セサルヘカラスト雖モ第四百九十一條ニハ如何ナル場合ニ於テモ滿期日以後ノ利息ヲ辨償スヘキ規定ナレハナリ

(二)拒絶證書作成ノ手數料其他ノ費用　償還請求權ヲ行使スルニ伴フハ拒絶

リ賣買ノ目的物ニ付キ取戻權ヲ有ス然レトモ買主カ賣主ノ爲メニ手形ノ引受ヲ爲シタルコト其他辨濟ノ擔保ヲ供シタルコト等ノ如キ關係ハ代價ノ完濟ト爲ルコトナシ買主カ代金辨濟ノ爲メニ賣主ニ手形ヲ交付シタル場合亦通則上代價ノ完濟ト爲ラス蓋シ斯ル場合ニ於テハ賣主又ハ其後者カ手形金ヲ完全ニ受取リタルニ因リテ代價ノ完濟ト爲ルモノナレハナリ故ニ賣主ハ後日手形金ノ支拂アリタルトキハ之ヲ破産財團ニ返還スヘキ債務ヲ留保シテ取戻權ヲ行フモノナリ但特約上賣主カ代金ノ支拂ニ代ヘテ手形ヲ受取リタルトキハ代物辨濟ト爲ルヲ以テ買主ノ破産ニ於テ賣買ノ目的物ニ付キ取戻權ヲ有スルコトナキヤ當然ナリ此ノ如ク代價ノ完濟ナキコトヲ要スル理由ハ賣主ト買主ヨリ其破産宣告前ニ於テ代價ノ完濟ヲ受ケタルトキハ隔地取引ニ付キ毫モ損失ヲ被ムルコトナク隨テ賣主ニ取戻權ヲ認メテ之ヲ保護スルノ必要ナキヲ以テナリ(要件)賣主ノ取戻權ニ因リテ發生スル效力ノ第一ハ前述ノ如ク賣買ヲ解除セスシテ之ヲ履行前ノ原狀ニ回復シ賣買關係ヲシテ賣主カ未タ賣買ノ目的物ニ所有權及ヒ占有權ヲ買主ニ移轉セサルノ狀態ニ在ラシムルニ在リ「ポッセルト」

「ウキルモースキー」氏等カ賣買ノ目的物ノ發送以後ニ發生シタル狀態ヲ斯ル發送當時ノ原狀ニ回復シ之ヨリ以後ニ於ケル債務ノ履行ヲ廢止スルモノナリト曰ヘル見解ハ賣買ノ目的物ノ所有權カ其發送以前ニ買主ニ移轉シタル場合ニ於テ賣主カ取戻權ノ效力トシテ所有權ヲ回復スルノ法理ヲ說明スルコト能ハサルカ故ニ我破産法ノ解釋トシテハ狹キニ失スト謂フヘシ故ニ(甲)賣買ノ履行解除及ヒ損害賠償等ノ法律關係ハ買主ノ破産宣告ノ當時ニ於テ當事者雙方カ未タ其債務ヲ履行セサリシ雙務契約ニ於ケルト同シク破産法及ヒ實體法ノ規定ニ從ヒテ之ヲ定メサルヘカラス(商法第九九三條破産法案第五九條獨逸破産法第一七條)是ヲ以テ管財人カ破産財團ノ爲メニ買主タル債務ヲ履行シ且賣主ノ債務履行ヲ欲スル旨ノ意思ヲ表示シタルトキハ賣主ハ其債務ノ履行ヲ拒ムコトヲ得ス蓋シ斯ル場合ニ於テハ賣主ハ管財人カ買主ノ債務ヲ財團債務(財團債權)トシテ履行スルカ故ニ毫モ損失ヲ受クルコトナケレハナリ換言セハ賣主ハ其取戻權ノ行使ニ依レル債務履行前ノ原狀回復ニ因リテ管財人カ破産財團ノ爲メニ破産者ニ代リテ買主タルノ債務ヲ履行スルコトヲ欲シ且賣主ニ對シ其債務ノ履行ヲ求ムル旨ノ意思ヲ表示スルニ非サレハ賣買ノ目的物ノ引渡ヲ管財人ニ對シ拒絕スルコトヲ得ヘキ地位ニ在ルニ過キサレハナリ隨テ管財人カ斯ル意思ヲ表示シタルトキハ之ニ依リテ賣主ハ其賣買ノ目的物ヲ破産財團ヨリ取戻スコトヲ得ス之ニ反シテ管財人カ斯ル意思ヲ適當ナル時期ニ表示セサルトキハ賣主ハ管財人ニ對シテ催告ヲ爲シ若シ管財人カ斯ル催告ニ應セサルトキハ賣買ノ履行ヲ欲セサルコトト爲ル管財人カ破産財團ノ爲メニ賣買ノ履行ヲ不利益ト認メ之ヲ爲スコトヲ欲セサルトキハ賣主及ヒ買主ハ賣買契約ヲ解除スルコトヲ得此場合ニ於テハ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス(商法第九九三條民法第五四五條第三項)其詳細ノ說明ハ破産ノ效力ニ之ヲ讓ル又管財人カ賣買ノ履行ヲ欲セス若クハ管財人及ヒ賣主カ契約ノ解除權ヲ行使セサリシ場合ニ於テハ賣主ハ契約ノ不履行ニ基ク損害賠償請求權ヲ破産債權トシテ主張スルコトヲ得然レトモ代金ノ支拂ヲ目的トスル請求權ヲ破産債權トシテ主張スルコトヲ得ス蓋シ賣主ハ取戻權行使ノ結果トシテ賣買ノ目的物ヲ保有スレハナリ(乙)賣主ハ買主ヨリ受取リタル代金ノ一部及ヒ手附金ヲ返還スヘキ

義務ヲ負フ獨逸ノ「ベーナルゼン」氏ハ賣買契約ハ賣主ノ取戻權ノ行使又ハ管財人カ賣買ノ履行ヲ欲セサル旨ノ意思表示ニ因リテ消滅スルコトナシ隨テ賣主ハ代金ノ支拂ニ付キ請求權ヲ有ストノ理由ヲ以テ取戻權ヲ行使シタル賣主カ賣主ヨリ受取リタル代金ノ一部ヲ所持スルモ法律上ノ原因ヲ缺クモノニ非ス隨テ不當利得ト爲ラス仍テ返還ノ義務ナシト論決シタリト雖モ多數ノ學者ノ認メサル所ナリ蓋シ然ラスンハ賣買關係カ其履行前ノ原狀ニ回復セラレタルモノト謂フコトヲ得サレハナリ又賣主ハ取戻權ノ行使ニ因リテ生シタル費用ハ自ラ之ヲ負擔シ又之ヲ立替ヘタル管財人ニ賠償セサルヘカラス蓋シ斯ル費用ハ賣主ノ利益ノ爲メニ生シタルモノナルノミナラス賣主ハ無償ニテ賣買ノ目的物ニ付キ送戻ヲ請求スルノ權利ヲ有セサレハナリ然レトモ賣主ハ取戻權ノ行使ニ因リテ生シタル費用ノ賠償ヲ損害賠償ニ基ク破産債權トシテ主張スルコトヲ得ヘシ何トナレハ斯ル費用ハ賣主ノ契約不履行ニ因リテ生シタルモノナレハナリ管財人カ賣買ノ履行ヲ欲スルヤ否ヤニ關スル意思ノ表示ヲ不當ニ遲延シタルニ因リテ生シタル損害ハ之ヲ財團債權トシテ主張シ(商法第一〇三二條獨逸破産法第五九條第一號)又賣主タル荷受人(破産者)カ約旨ニ從ヒ負擔スヘキ發送費用ハ管財人カ破産財團ノ爲メニ賣買契約ノ履行ヲ欲シタルトキニ限リ代金ノ支拂ヲ目的トスル債權ト同シク財團債權トシテ之ヲ主張スルコトヲ得(商法第一〇三二條獨逸破産法第五九條第一號)其第二ハ賣主カ取戻權ヲ有スル賣買ノ目的物ハ破産財團ニ屬セサルコト是ナリ故ニ(甲)管財人ハ斯ル目的物ノ到達ノ前後ヲ問ハス之ヲ處分スルノ權限ヲ有セス(商法第三三五條第六二九條)是ヲ以テ管財人カ賣買ノ目的物(取戻權ノ目的物)ヲ處分シ未タ之ヲ相手方ニ引渡ササル間ハ賣主ハ破産財團中ニ現存スル賣買ノ目的物ニ付キ取戻權ヲ行使スルコトヲ得但斯ル處分カ管財人ノ破産財團ノ爲メニ賣買ノ履行ヲ欲スル默示ノ意思表示ト認ムルコトヲ得サルトキ即チ管財人カ斯ル處分ヲ爲スノ當時取戻權ノ目的物タルコトヲ知ラサリシトキ又ハ斯ル處分ヲ爲シタルニ拘ハラス賣買ノ履行ヲ欲セサル旨ノ意思ヲ明示シタル如キ場合ニ限ルヤ言ヲ俟タス(民法第一七八條之ニ反シテ管財人カ賣主ノ取戻權ノ目的物ヲ處分シ既ニ之ヲ相手方ニ引渡シタルトキハ賣主ハ後述ノ如ク管財人カ該處分ニ因リテ

受取ルヘキ反對給付ヲ目的トスル權利ニ付キ讓渡ヲ請求シ又ハ破產財團中ニ現存スル反對給付ニ付キ財團債權トシテ請求ヲ爲ス(破產法案第七七條參照)(乙)買主カ其破產宣告前ニ賣買ノ目的物ヲ處分シタルモ未タ之ヲ相手方ニ引渡ササルトキハ賣主ハ買主カ斯ル處分ヲ爲ササリシ場合ニ於ケルト同シク賣買ノ目的物ニ付キ取戻權ヲ行使スルコトヲ得(民法第一七八條)而シテ斯ル場合ニ於テハ管財人ハ買主ノ相手方タル第三者ニ對スル契約不履行ニ因リテ生スル損害賠償ヲ避クルカ爲メニ賣主ニ對シ賣買ノ履行ヲ欲スル旨ノ意思ヲ表示シテ賣主ノ取戻權ノ行使ヲ止ムルヲ得ルヤ言ヲ俟タス但取戻權ノ目的物カ破產財團中ニ現存セサルトキハ賣主ハ反對給付ヲ目的トスル權利ニ付キ讓渡ヲ請求シ又ハ破產財團中ニ現存スル反對給付ニ付キ財團債權トシテ權利ヲ主張スヘキモノナルヤ後述ノ如シ之ニ反シテ買主カ其破產宣告後ニ於テ取戻權ノ目的物ヲ處分シ且之ヲ相手方ニ引渡シタルトキハ該行爲ハ破產債權者團體ニ對シ無效ナルヲ以テ(商法第九八五條第二項)管財人カ斯ル目的物ヲ破產財團ノ爲メニ取戻シタル場合ニ於テハ賣主ハ該目的物ニ付キ取戻權ヲ行使スルコトヲ得

若シ管財人カ破產者ノ行爲ヲ是認シテ該目的物ヲ取戻ササルトキハ管財人カ破產財團ニ屬スルヲ理由トシテ買主ノ相手方タル第三者ヨリ取立ツヘキ反對給付ヲ目的トスル權利又ハ其權利ノ行使トシテ破產財團ニ屬シタル反對給付ニ付キ權利ヲ主張スルヲ得ルコトハ管財人カ取戻權ノ目的物ヲ處分シタル場合ニ同シ其第三ハ取戻權ハ其效力ヲ第三取得者ニ對シテ及ホスコトヲ得ルコト即チ是ナリ元來賣主ノ取戻權ハ前述ノ如ク債權的請求權ナルヲ以テ唯破產者タル買主ニ對シテ成立シ且管財人ニ對シテ之ヲ主張スルコトヲ得ルモノニ過キスト雖モ之ニ依リ賣買カ履行前ノ原狀ニ回復スルモノナルヲ以テ取戻權ヲ有效ニ行使シタル以後ハ賣主ハ第三取得者所有者(質權者ニ對シ所有權又ハ占有權ニ基キ賣買ノ目的物ノ返還請求其他ノ主張ヲ爲スコトヲ得ヘシ但第三取得者カ其取得ノ當時善意即チ取戻權ノ存在ヲ知ラサルカ爲メニ實體法ノ規定ニ從ヒ他人ノ財產上ニ取得シタル權利ヲ維持スルコトヲ得ルトキハ此限ニ在ラサルナリ(民法第一九二條第一九五條等)獨逸ニ於テハ「エッケル」「イエグル」「ヒユルマン」民等ハ消極論ヲ主張シ其理由トシテ賣主ノ取戻權ハ其性質上破產者

及ヒ管財人ニ對シテ之ヲ主張スルコトヲ得ヘク第三取得者ニ對シテ之ヲ主張スルコトヲ得ス而シテ第三取得者カ惡意殊ニ賣主ノ取戻權ノ實效ナカラシメンカ爲メニ買主ヨリ賣買ノ目的物ヲ讓受ケタルカ如キ場合ニ於テハ賣主ハ第三取得者ニ對シ不法行爲ニ基ク損害賠償ヲ請求スルノ權利ヲ有スルニ過キスト曰ヒ(獨逸民法第八二三條之ニ反シ之ヘベーテルゼン「ウキルモースキー」「ポッセルト」氏等ハ積極論ヲ主張シ其理由トシテ取戻權ノ有效ナル行使ニ依リテ賣買ノ目的物ニ付キ破産者タル買主ノ有スル所有權ハ既往ニ遡リテ存在セス隨テ第三取得者ハ所有者ニ非サリシ者ヨリ賣買ノ目的物ニ付キ權利ヲ取得シタルモノ又破産者タル買主ノ有スル占有權ハ賣主ニ對スルト同シク第三取得者ニ對シテモ存在セサリシモノト爲ルカ故ニ賣主ハ第三取得者ニ對シ所有權又ハ占有權ニ基キ目的物ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ヘシ但第三取得者カ實體法ノ規定ニ從ヒ他人ノ所有物ニ付キ取得シタル權利ヲ有效ニ維持スルコトヲ得ル場合殊ニ第三取得者カ其取得ノ當時善意即チ取戻權ノ存在ヲ知ラサリシトキハ此限ニ在ラスト曰ヘリ(獨逸民法第九三二條、第一二〇七條、獨商法第三六六

爲メニ或ハ强制豫算或ハ派遣官吏等ノ方法ヲ用フルコトアルナリ而シテ監督ノ寬嚴ハ國ノ事情ニ依リ異ナリ法制上其挨ヲ一ニスト雖モ然レトモ監督嚴ヲ極ムルトキハ團體ノ意思ヲ全ク無視スルコトト爲リ其結果自治公共團體ヲ消滅セシムルモノナルニ由リ之ヲ許スヘカラサルコトナリ今右ニ述ヘタル所ヲ要約シテ自治公共團體ノ定義ヲ與フルトキハ

自治公共團體トハ統治權ノ積極消極ノ監督ヲ受ケ團體ノ生存目的ト定メラレタル國務ノ一部ヲ處理スルノ義務ヲ負フ所ノ自治公法人ナリ

第二節　自治公共團體ノ種類

第一　自治公共團體ヲ其處理スル事務ノ消極的ニ制限セラルルト積極的ニ定メラルルトニ依リ即チ其事務ノ一般ナルト特別ナルトニ依リ之ヲ分ツトキハ普通公共團體及ヒ特別公共團體ノ二ト爲スコトヲ得ヘシ

普通公共團體トハ府縣郡市區町村等ノ如キ其區域內ノ公共事務ニシテ他ノ機關ノ權限ニ屬セサル一切ノ事務ヲ處理スルモノナリ特別公共團體トハ特別ノ

産業ノ增進又目的トシ特別ニ定メタル事務ヲ執行セシメ學校組合水利組合又ハ救貧組合等ニ如キモノヲ謂フナリ若シ其權限ノ範圍ニ付キ疑アルトキハ普通公共團體ノ行爲能力ハ廣ク之ヲ解釋スベク特別公共團體ノ行爲能力ニ付テハ疑ハシキモノハ其範圍外ト解スベキナリ

第二　其設立ハ任意ナルト否トニ依リ公共團體ヲ分ツトキハ任意公共團體强制公共團體是ナリ

任意公共團體トハ之ヲ設立スルハ全ク設立者ノ自由ニ存スルモノニシテ統治者ニ對シ敢テ義務ヲ有セサルモノナリ然レトモ任意ノ團體モ一旦之ヲ設立シタル以上ハ國家ノ機關ナリトシテ國家事務ノ一部ヲ負擔シ之ヲ行フノ義務ヲ有スルモノタルヲ由リ任意ニ之ヲ解散スルコトヲ得ス例ヘハ普通水利組合又ハ商業會議所等ノ如シ强制公共團體トハ統治者カ法令ヲ以テ其設立ヲ强制スル所ノモノニシテ統治者ノ公益上必要ト認ムルトキハ關係者ノ意思如何ニ拘ハラス設立セシムルモノナリ府縣郡市町村水害豫防組合等其例ナリ

第三　公共團體ヲ區域ノ有無ニ依リ領土公共團體ト組合公共團體トニ區別ス

ルコトヲ得

領土公共團體トハ又地方團體トモ稱シ其區域内ニ在ル者ハ必與團體員タラサルヘカラサルモノニシテ例ヘハ市町村ノ如キモノナリ組合公共團體トハ或一定ノ資格要件ヲ具備スル者ニ限リ團體員タルヘキモノニシテ例ヘハ商業會議所普通水利組合水害豫防組合等是ナリ而シテ領土ヲ要素トスル點ニ於テハ國家ト地方團體トハ等シト雖モ此二者ノ同シカラサルハ勿論ノ事ニシテ其區別ニ關シテハ學說區區ニ分レタリ今參考ノ爲メ左ニ其著シキモノヲ擧クレハ左ノ如シ

第一說ハ主權ノ有無ヲ以テ兩者ノ區別ノ標準ト爲スモノナリ「ザオデル」及ヒ「ヴオルン」ノ兩氏ハ此說ノ主張者ニシテ共ニ主權ノ有無ヲ以テ國家ト地方團體トノ區別セントスルモノナリ然レトモ主權ハ國家ノ要素ニ非サルヲ以テ此說ハ採用シ難シ

第二說ハ「プロイス」氏ノ唱フル所ニシテ國家ハ領土主權ヲ有シ領土ヲ自由ニ處分シ得ルモ地方團體ハ此權ヲ有セスト然レトモ市町村モ組合ヲ造リ任意ニ其區域ヲ以テ他ノ團體ノ區域ノ一部ト爲スコトヲ得ルカ故ニ此點ハ未タ以テ國

家ト地方團體トヲ區別スルコトヲ得サルナリ

第三說ハ國際法上ノ人格タルヲ得ルト否トニ依リ區別スル說ナリ之ニ關シ「ヘトイバー」氏曰ク地方團體ハ國際法上ノ人格ナキニ由リ國家ト異ナルモノナリ然レトモ國家タルヤ否ヤハ國際法ニ依リ定マルモノニ非スシテ國家タルカ故ニ國際法上ノ人格ヲ有シ得ルモノナリ故ニ此說ハ本末ヲ顚倒シタルモノナリト謂フヘシ

第四說ハ「ローヤン」氏ノ說ニシテ氏ハ目的ニ區別ノ標準ヲ求メ地方團體ノ目的ハ一地方ニ於ケル地方的共同生活ノ需用ヲ達スルニ在レトモ國家ノ目的ハ之ニ反シ國民的利益即チ人民一般ノ共同生活ノ爲メニ固有ナル利益ヲ進ムルニ在リト然レトモ府縣州ニシテ國家ヨリ大ナルモノアルコトヲ考フルトキハ此說モ採用スルコトヲ得ス何トナレハ國民的利益ト地方的利益トヲ大小ニ依リテ區別スルコト難ケレハナリ

第五說ハ「ブリー」氏ノ唱フル所ニシテ氏ハ曰ク國家ノ目的ハ無制限ナルモノニシテ此目的ヲ達スル爲メニハ全般ニ亘ルノ作用ヲ爲シ如何ナル事項ヲ自己ノ事務ト爲スモ其任意ナリ地方團體ハ之ニ反シ其權限如何ニ廣大ナルモ其目的地方的利益ニ限ラルルカ故ニ其目的制限的ノモナリト然レトモ聯邦ヲ組織スル所ノ國家ニ於テハ其管轄事項ニ制限ヲ有スルニ由リ此說モ採用スルコト難シ」

第六說ハ「ゲーマイヤー」氏ノ主唱ニ係リ國家ハ他ノ制限ヲ受クルコトナク獨立ニ自己ノ定メタル法規ニ依リ政治上ノ目的ヲ達シ又獨立シテ其組織ヲ定ムルノ權限ヲ有スルコトヲ得ルモ地方團體ハ此等獨立的權能ヲ有セスト雖然レトモ地方團體モ自主權ヲ有シ或程度ニ於テ其機關ノ組織ヲ自ラ定メ又事務ヲ獨立ニ處理スルノ能力ヲ有スルモノナリト然ルニ國家中ニテモ聯邦ヲ組織スルモノニ於テハ其獨立的權能モ幾分カ聯邦國ノ法規ニ依リテ制限セラルルニ由リ「マイヤー」氏ノ唱フル如キ區別ノ標準ヲ以テ此兩者ヲ區別スルコトヲ得サルモノナリ

第七說ハ「エリチック」氏ノ說ニテ氏ハ監督權ヲ國家及ヒ地方團體ノ區別ノ標準ト爲シテ曰ク國家ハ一定ノ範圍ニ於テハ其作用ニ付キ他ノ權力者ノ監督ヲ受クルコトナク法規ヲ發スルコトヲ得ルモ地方團體ハ國家ノ監督ヲ受ケテ其事務

ヲ處理スルモノナリト然レトモ聯邦國ハ常國聯邦內ノ各邦ハ其權限ノ範圍ヲ超エテ連邦國ノ法律ヲ犯スコトナキヤ監視スルモノナリ故ニ此點ヲ以テ國家ト地方團體トヲ區別スルコト難シ

第八說ハ「ラバンド」氏ノ唱フル所ニシテ固有ノ統治權ヲ有スルヤ否ヤヲ以テ國家ト地方團體トヲ區別セントスルモノナリ氏曰ク自由ニ人ノ服從ヲ强制スルノ權ハ國家ノミ之ヲ有シ市町村或ハ其他地方團體カ時トシテ警察及ヒ租稅ニ關スル命令ヲ發シ其住民ノ服從ヲ强制スルノ權ヲ有スルモ此權ハ此等ノ團體固有ノ權ニ非スシテ總テ國家ヨリ得テ之ヲ使用スルモノナリ即チ市町村其他ノ地方團體ハ或政務ノ範圍ニ於テ行政シ立法シ又命令ヲ以テ其區域內ノ人民ヲ强制シ得ルモ總テ國家ノ委任ヲ受ケテ之ヲ爲スモノナリト此說ハ國家ヲ以テ統治權ノ主體ト爲スモノナルカ故ニ此說ノ全部ヲ採用スルコト難シト雖モ區別ノ標準トシテハ此說ノ中ニ幾分ノ眞理ヲ包含スルニ由リ予ハ此說ヲ採用シ幾分之ヲ變更シテ左ノ如ク言ハント欲スルモノナリ

國家トハ固有ノ統治權ニ依リテ組織セラレタル團體ニシテ市町村等ノ地方團體ト國家統治權ヨリ流出シタル權力ヲ以テ存在スル團體ナリ

第三節　普通公共團體

第一款　概論

我國ノ普通公共團體ハ領土公共團體即チ地方團體ニシテ內地ニ於テハ市町村郡府縣ノ團體ヨリ成リ而シテ此等ノ團體ハ三級ノ階級ヲ爲シ町村ノ上ニ郡アリ郡ト市ト相並セテ其上ニ府縣ヲ有スルモノニテ最下級ノ地方團體ハ市及ヒ町村ナリ今此三階級ノ關係ヲ考フルニ最小ノモノ即チ市町村ノ負擔ニ堪フルモノハ之ヲ市町村ノ事務ト爲シ町村ノ經濟ニ堪ヘサルモノハ郡ノ事務ト爲シ市郡ノ負擔ニ堪ヘサルモノハ府縣ノ事務ト爲スヲ以テ大體ノ方針ト爲セリ然レトモ或程度ニ於テハ上級團體ヨリ下級ノ團體ノ經濟ヲ補助シ以テ其事業ヲ行ハシムルコトナキニ非サルナリ

第二款　市町村

第一項　市町村ノ性質

市町村ハ最モ完全ニ又最モ早ク發達シタル自治公共團體ニシテ一定ノ區域内ノ人民ヲ以テ成立スル領土團體ナリ而シテ市町村ハ公共團體ナルニ由リ市町村ハ即チ國家ノ事務ヲ自己ノ事務トスル一ノ行政機關ナリ

市町村自治權ノ範圍ハ却テ上級地方自治團體即チ府縣郡ニ比シテ廣シ其理由ハ大ナル團體ニ完全ナル自治權ヲ與フルトキハ封建政治ヲ復活スルノ惧アレハナリ然レトモ小ナル團體ニ完全ナル自治權ヲ與フルトキハ此惧ナクシテ而モ十分ニ活動シテ能ク行政機關タルノ職務ヲ盡スノ利アレハナリ

第二項　我國市町村ニ關スル制度ノ歴史

維新以降尚ホ暫ク幕府時代ノ年寄、庄屋、名主ナルモノヲ存置セシメシカ明治四年四月郡町村ヲ區劃シテ大小區ト爲シ五年四月庄屋以下ノ名稱ヲ廢シテ戸長、副戸長ヲ設ケタリ十一年七月郡區町村編制法制定サレシトキ區ニ區長ヲ置キ町村ニ戸長ヲ置カレタリ十三年四月區町村會法ヲ定メラレ區町村會ヲ設ケテ區町村費ヲ以テ支辨スヘキ事業及ヒ其經費方法ヲ議セシメタリ蓋シ是レ佛國西ノ地方制度ニ倣ヒタル結果ニ出ツルモノニシテ今日自治制度ノ萌芽ナリ後鄉逸ノ自治制度ニ普蘭西ノ市町村制攻究ノ結果獨人モッセ氏ヲシテ市町村制ヲ起草セシメ其草案元老院ニ於テ審議セラレタル後二十一年四月ニ至リ現行ノ市制町村制ト爲リテ發布セラレ市町村ノ完全ナル自治制確立セラレタリ而シテ此時從來區ナリシモノ市ト變セラレタルナリ然レトモ僻地ニ於テハ此市町村制ヲ施行セサルコトト爲シ北海道及ヒ沖縄縣ハ外明治二十二年勅令第一號ヲ以テ此制度ノ效力ノ及ハサル區域ヲ定メタリ即チ東京府ニ於テハ小笠原及ヒ伊豆七島、長崎縣ニテハ對馬、島根縣ニテハ隱岐、鹿兒島縣ニ於テハ大隅國大島ニ屬スル十五島是ナリ北海道ニテハ明治三十年以降漸次自治制ヲ施行スルコトト爲シ同年五月勅令第百五十八號ヲ以テ北海道區制ヲ定メ之ヲ小樽函館及ヒ札幌ニ施行シ同シク勅令第百五十九號ヲ以テ北海道一級町村制同シク勅令第百六十號ヲ以テ二級町村制ヲ定メタリ沖縄縣ニ於テハ明治二十九年三月勅

令第十九號ヲ以テ沖繩縣區制ヲ定メ之ヲ那覇及ビ首里ニ施行シ明治三十一年勅令第三百五十二號ヲ以テ沖繩縣間切島規程ヲ定メタリ是レ本縣內地ハ町村制ニ相當スルモ尺大ハ臺灣ニテハ明治三十一年八月律令第二十一號ヲ以テ保甲條例ハ小地方制度ヲ施行シタリ東京京都大阪ノ三市ニ於テハ明治二十二年法律第三號ヲ以テ特別市制ヲ發布シ之ヲ三市ニ施行セシカ自治權ヲ總團普通ノ市ニ比シテ狹キヲ以テ爾後年年其廢止案議會ニ提出セラレ明治三十一年六月法律第十九號ヲ以テ同三十一年九月三十日限リ此特別市制ヲ廢止スルコトヲ決セリ然ルトキハ市ノ制度ハ今特別制ノ利害ヲ考フルニ百萬內外ノ人口ヲ有スル市ハ通常十萬內外ノ人口ヲ有スル市ト同一ノ法律ヲ以テ之ヲ律セントスルハ二當ラ得ザルコト勿論ニシテ既ニ明治二十二年ノ特別市制ハ其宜キヲ得ズトスルモ少クトモ東京ニ對シ特別制度ヲ制定スルノ必要アルコトヲ信ズルモノカリ自治團體ノ數等ノ數

第三項　市町村ノ區別

佛國西ニ於テハ市町村ノ間ニ區別ナシ我國現行ノ市町村制ハ普漏西ノ制度ニ基キタルモノナルニ由リ市制ト町村制トノ間ニ區別ヲ存セリ其區別ノ要點ハ

第一　市ハ當然市制ヲ施行セラルベキモノニ非スシテ新ニ市制ヲ布カントスルトキハ凡ソ人口二萬五千以上ヲ有スル團體中ニ付キ府縣知事ハ具申ニ基キ內務大臣之ヲ指定スルモノナリ

第二　市ハ郡ヨリ獨立シタル團體ナルモ町村ハ郡ノ區域內ニ屬スルモノナリ

第三　市ノ執行機關ハ合議制ニ基ク所ノ市參事會ナルモ町村ハ執行機關ハ之ニ反シテ單獨制ノモノニシテ即チ町村長ナリ

第四　市會議員ノ選擧ハ三級選擧ナルモ町村會議員ノ選擧ハ二級選擧ナリ

第五　市長及ビ町村長ハ其選任ノ手續ヲ異ニセリ

第六　町村ノ直接上級監督廳ハ府縣知事ナリ

其他議長及ビ選擧區ニ關スル規定ニ付テモ幾分ノ差異ナキニ非サルナリ

町ト村トノ間ノ差異ハ主トシテ名稱ノ差異ニ止マリ制度ハ上ニ於テ何等ノ區別ヲ設ケス唯事實上町トハ市以外ニ於テ舊來ノ宿驛ノ廟等人民ノ輻輳セル部

舊ヲ謂ヒ村トハ人家散在シテ農漁等ニ從事スル人民ノ部落ヲ謂フモノナリ市村ヲ町ト爲シ町ヲ村ト爲サントスルトキハ關係アル市町村會及ビ郡參事會ノ意見ヲ聽キ府縣參事會之ヲ議決シ內務大臣ノ許可ヲ待ツヘキモノナリ(明治二十三年八月二十九日法律第七十七號)

第四項　市町村ノ廢置及ヒ名稱變更

(一)法律ニ依ル場合　市ヲ廢シテ町村ト爲スコトニ關シテハ市町村制中別段ノ規定ナシト雖モ市制第百二十六條ニ依リ定メラレタル市制施行ノ區域ヲ變更スルモノナルニ由リ法律ヲ以テ定メラルヘカラサルモノナリ

(二)內務大臣ノ權限ニ屬スル場合　町村ヲ市ト爲スコトハ市制第百二十六條ニ於テ之ヲ規定シ其方法ハ町村ヲ市ト爲サントスルトキハ府縣知事ノ具申ニ依リ內務大臣之ヲ指定スルモノトセラレタリ

(三)府縣參事會ニ於テ行フ場合　此場合ハ固ヨリ府縣參事會ノ專權ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得ス市町村會及ヒ郡參事會ノ意見ヲ聽キ內務大臣ノ許可ヲ要スルモノナリ而シテ此手續ニ依ル場合左ノ如シ(町村制第四條參照)

(イ)市ニ町村ヲ合併スルコト

(ロ)市ヲ分割シテ數町村ト爲スコト

(ハ)數町村ヲ合併シテ一町村ト爲スコト

(ニ)一町村ノ割キテ數町村ト爲スコト

(ホ)數町村ヲ其一部ツヽ分割シテ一町村ト爲スコト

(ヘ)一町村ヲ廢シテ數町村ノ區域ニ編入スルコト

此等市町村ノ廢置分合ノ場合ニ內務大臣ノ許可ヲ要スル理由ノ一ハ市町村ハ自治團體タルト共ニ國ノ行政區畫タルカ爲メナリ市町村會ノ意見ヲ徵シ且般地方團體ノ機關ヲシテ之ヲ議決セシムル所以ハ自治團體ハ素ト社會自然ノ有樣ヨリ成レル所ノ團體ニ其基礎ヲ置キタルモノナルニ由リ行政上ノ便宜ノ爲メ法律ヲ以テ自由ニ之ヲ區畫セシメサルノ趣旨ニ基クモノナリ又此等ノ處分ニ依リ財產處分ヲ要スルトキハ同一ノ機關ニ於テ併セテ之ヲ議決スヘキモノナリ

市町村名稱ノ變更ハ市町村ノ廢置分合ト何等ノ關係ナキモ名稱ノ如キハ歷史沿革ニ基クモノナルニ由リ右ノ(III)ニ述ベタル者ト同樣ノ手續ヲ經ルコトヲモトリ(明治二十三年法律第七十七號參照)

第五項　市町村ノ要素

市町村ハ領土團體ナルニ由リ一定ノ地域ト人民トヲ基礎トス而シテ市町村カル公共團體ヲ維持スルカ爲メニハ尙ホ其他一ノ權力ヲ必要トス此權力ヲ自治權ト謂フ

第一　自治權

自治權ノ主體ハ市町村ナレトモ其權力ハ市町村固有ノモノニ非ス市町村カ統治機關トシテ行動シ統治事務ノ一部ヲ自己ノ事務トシテ處理スルカ爲ノ統治權ヨリ之ヲ得タルモノナリ即チ自治權ノ發生ハ統治權ノ委任ニ出ツルモノト謂フヘシ

第二　區域

市町村ノ區域ハ市町村團體ノ權力即チ自治權ノ及ブ範圍ヲ稱スルモノナリ市町村ハ此區域ヲ基礎トシ其範圍內ニ在住民ニ對シ自治權ヲ行使スルモノナリ尙ホ此區域ハ公法上ノ性質ハ統治權客體ノ一タル領土ト相類似スルニ由リ進ニ其說明ヲ省ク區域ト國家領土トハ關係ヲ付テハ二種ノ制度アリ一ハ國家領土內ニ何レノ市町村ニモ屬セサルモノ存スルヲ許スト雖ト國家ノ領土ハ總テ何レカノ町村ニ屬セサルヘカラサルモノト爲スモノト是ナリ歐洲ニテハ往昔地方團體ノ區域ニ關スル思想明カナラス殊ニ市町村ニ於テ公法上ノ區域ノ觀念ト市町村若クハ市町村住民ノ所有地トノ思想混同セシヲ以テ無人ノ地或ハ未開墾ノ地ハ往往何レノ町村ニモ屬セサルモノト爲セリ然レトモ今日多クノ國ニ於テハ原則上第二ノ制度ヲ採用シ唯獨逸墺太利ノ諸國ニ於テハ Gutsbezirk 其他佛蘭西ニシテ無人ノ土地又ハ皇居離宮又敷地等ハ市町村ノ區域外ノモノナリト爲セリ蓋シ蒼時代ノ思想ノ遺物ナルヘシ國家ノ領土ニシテ市町村ニ屬セサルモノナシト云フ第二ノ制度ハ完全ニ行ハルルハ獨逸西洲ノ蓋シ市町村ハ統治機關ニシテ其事務ハ國家ノ事務ナリ故ニ統治者カ其事務ヲ爲スニ當

り其領土は何レカ人地方團體ノ區域に屬セシメサルベカラストノ趣旨ニ基キタルモノナリ我國ニテモ亦第二ノ制度ニ依ルモトハ郡、區、町村編制法發布以來確定シタルモノニテ我國ノ領土ハ其名稱ノ如何ヲ問ハスト何レカノ此町村即チ今日ノ市町村ニ屬セサルベカラサルモノトシ爲ニ町村ノ區域ハ自治團體ノ區畫タルト同時ニ亦國ノ行政區畫タリ何トナレハ市町村長ハ自治機關タルト同時ニ亦國ノ機關タレハカリ然レトモ外國ニテハ必スシモ此兩者兼備スルモノト謂フヲ得ス英國貧民救助區(Poor Law Union)ノ如キハ自治體ノ區域ナルモ國ノ行政區畫ニ非サルカリ自治團體ヲ設クルノ趣旨ハ一ノ社會自然ノ狀態ニ基キタル結合ヲ保護スルニ在ルヲ以テ已ムヲ得サル場合ノ外妄ニ從來ノ區域ヲ變セサルヲ法ノ精神トス是レ市町村制第三條ニ市町村ハ從來ノ區域ヲ存シテ之ヲ變更セスト規定シタリシ所以ナリ然レトモ其區域變更ノ已ムヲ得サル場合亦ナキニ非サルニ由リ其場合ニハ之ヲ許セリ元來市町村區域ノ變更ハ領土ノ變更ト異ナリ國權活動ノ範圍ニ影響ヲ及ホスコトナキニ由リ法律勅令等ノ煩雜ナル手續ニ依ラス市町村會及ビ關係地主ノ意見ヲ聞キ郡參事會之ヲ議決シ其數郡ニ渉リ又ハ市ノ境界ニ渉ルモノハ府縣參事會之ヲ議決スルコトト爲セリ此變更ノ處分ニ依リ財產處分ヲ要スルトキハ又同一ノ機關ニ於テ併セテ之ヲ議決スルモノナリ市町村ノ廢置分合ト其區域變更ト異ナルノ點ハ團體ノ存廢ニ關係アルト否ト即チ市町村ノ數ニ增減アルト否トニ在ルモノナリ(町村制第四條末項參照)又區域境界ニ關スル爭ハ市ノ境界ニ關シテハ府縣參事會之ヲ裁決シ町村ノ境界ニ關シテハ郡參事會數郡ニ渉ル場合ノミハ府縣參事會之ヲ裁決ス而シテ其裁決ニ不服アルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ルモノトセリ蓋シ市町村ノ區域ハ單ニ行政區畫ナルノミナラス自存ノ目的ヲ有スル團體ノ基礎ナルカ故ニ其區域ヲ侵スコトハ團體ノ自治權ヲ侵スコトト爲ヲ團體ハ權利トシテ防禦スルヲ得サルヘカラス是レ行政訴訟トシテ區域ニ關スル事ヲ提起スルコトヲ許セル所以ナリ

第三　住民

市町村團體ヲ組織スル者ハ男女老幼內外人ヲ問ハス之ヲ住民ト謂フ而シテ住民トハ滯在ノ事實ヨリ來ルモノナレトモ單純ナル滯在ニテハ未タ住民タルヒ之ヲ議決シ其數郡ニ渉リ又ハ市ノ境界ニ渉ルモノハ府縣參事會之ヲ議決スルコトト爲セリ此變更ノ處分ニ依リ財產處分ヲ要スルトキハ又同一ノ機關ニ於テ併セテ之ヲ議決スルモノナリ市町村ノ廢置分合ト其區域變更ト異ナルノ點ハ團體ノ存廢ニ關係アルト否ト即チ市町村ノ數ニ增減アルト否トニ在ルモノナリ(町村制第四條末項參照)又區域境界ニ關スル爭ハ市ノ境界ニ關シテハ府縣參事會之ヲ裁決シ町村ノ境界ニ關シテハ郡參事會數郡ニ渉ル場合ノミハ府縣參事會之ヲ裁決ス而シテ其裁決ニ不服アルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ルモノトセリ蓋シ市町村ノ區域ハ單ニ行政區畫ナルノミナラス自存ノ目的ヲ有スル團體ノ基礎ナルカ故ニ其區域ヲ侵スコトハ團體ノ自治權ヲ侵スコトト爲ヲ團體ハ權利トシテ防禦スルヲ得サルヘカラス是レ行政訴訟トシテ區域ニ關スル事ヲ提起スルコトヲ許セル所以ナリ

第三　住民

市町村團體ヲ組織スル者ハ男女老幼內外人ヲ問ハス之ヲ住民ト謂フ而シテ住民トハ滯在ノ事實ヨリ來ルモノナレトモ單純ナル滯在ニテハ未タ住民タルヒ

亘ヲ得ス若シ繼續的ニ住居スルヲ意思アリテ一人定マリタル場所ニ住居ヲ占スルトキハ住民ト爲ルヘキヲ以テ我市町村制理由書ニ「市町村住民籍即チ族籍ノ例規ハ別ニ法令ヲ以テ之ヲ制定センコトヲ期ス故ニ茲ニ之ヲ詳記セスト雖モ要スルニ本制ノ行ハルル日ヨリ人民ヒ町村トノ關係即チ族籍ニ付テハ從來ノ本籍寄留ノ例ヲ一變スルモノナリ」トアレトモ今日猶ホ之ニ關スル法令カタ又本籍寄留ノ事實ニ依ラサルモノナルニ由リ住居ト滯在トヲ區別スルノ標準甚タ困難ナリ實際ノ取扱トシテ行政官廳ハ永留ノ實跡アルヲ以テ住居ト爲ス如キモ實際滯在ノ久シキヤ否ヤハ區別ノ標準ト爲ラス例ヘハ學生ノ如シ又在留ノ市町村ニ土地家屋ヲ所有シ或ハ在留ノ市町村ニ一定ノ店ヲ有シテ開業スル如キモ必ヌシモ住民タルノ標準ト爲ラス行政裁判所ハ宅地ト家屋トヲ所有シ妻子ノ居住子孫ノ通學、徵稅命令書及ヒ徵稅命令書ノ送達、新聞ノ送付、受領書ニ某町村番地某ト記シタルコト等ノ事實ヲ以テ住居スルモノト認ムヘシト判決セリ要スルニ住所タルニ必要ナル住居トハ住居ノ意思及ヒ事實ニ依リテ判定スル事實問題ナリ又民法ノ住所ハ生活ノ本據トセラレタルニ由リ一人一ノ住所ヲ限リテ有シ得ルモ市町村制ニハ數市町村ニ住居ヲ構ヘ云云ノ規定アリテ二箇以上ノ住所ヲ有スルヲ認ムルニ由リ一人ニテ二箇以上ノ住居ヲ有スルヲ得隨テ一人ニシテ二箇以上ノ市町村ノ住民タルコトヲ得ルモノナリ

住民タル資格ニ伴フ權利ハ市町村公共ノ營造物ヲ使用スルコト並ニ市町村ノ財產ニシテ直接ニ住民ノ共用ニ供スルモノヲ使用シ得ルコトニテ住民タルノ義務ハ主トシテ市町村ノ負擔ヲ分任スルニ在ルナリ

住民中特別ノ權利義務ヲ有スル者ヲ公民ト謂フ而シテ公民ナルモノハ古ハ市町村ヲ組織スル要素即チ市町村團體員ニシテ此時代ニ於テハ團體員ハ公民ノミニシテ其以外ニ團體員トシテ住民ナルモノハ認メラレサリシモノナリ而シテ市町村ニ住居スルノ權ヲ有スル者ハ公民ノミニシテ團體所有ノ財產及ヒ團體所有ノ營造物等ヲ使用シ其他市町村ノ行政ニ參與スルノ權ノミナラス土地所有ノ權、工業ヲ營ムノ權、救助ヲ受クルノ權、婚姻ヲ爲スノ權モ總テ公民ノ專有セシ所ナリシモ其後公民以外ノ者モ亦市町村ニ住居シ土地ヲ有シ工業ヲ營ミ婚姻ヲ爲スコトヲ得ルノ時ニ至リ公民ノ意義モ一方ニ於テ漸次變シ遂ニ市町

村團體員タルモノハ公民ノミニ非スシテ住民ニモ之ヲ認ムルノ制度ヲ生スルニ至レリ是レ公民市町村ヨリ住民市町村ニ移ルノ大要ナリトス

公民ノ資格ヲ得ルニ二種ノ異ナリタル制度アリ

(一)　市町村公民ノ子孫ニシテ一定ノ資格アル者又ハ市町村ニ於テ特別ニ市町村公民タルノ權ヲ付與セラレタル者ヲ以テ公民トスルノ制度ナリ(獨逸バヴァリヤ國ライン州ニ於テハ市町村ノ行政機關ハ公民權ヲ與ヘントスルトキハ市町村會ノ決議ヲ要スルモノトセリ)是レ前代ニ於テ市町村ニ居住シ營業シ土地ヲ所有シ婚姻ヲ爲シ救助ヲ受クルニハ公民權ヲ有スルヲ以テ要件ト爲シタルニ由リ門閥及ヒ特許ヲ以テ公民權ヲ與ヘタルニ基クモノナリ

(二)　市町村住民中一定ノ要件ヲ具備スル者ハ當然市町村公民ト爲ルノ制度ナリ故ニ此制度ヲ採ル處ニ於テハ公民權ハ血統ニ依ラス各人ノ希望ニ依リテ與ヘラルルモノニ非ス又市町村長ヨリ其資格ヲ授與セラルルモノニ非ス公民タルノ要件ヲ具フル住民ハ直チニ公民ト爲リ得ルモノナリ此制度ハ近世的ノモノナルヲ以テ第一種ノ制度ヲ採用スル國ニ於テモ幾分カ第二種ノ制度ヲ折衷シ一定ノ資格ヲ有スル者ニハ必ス其公民權ヲ與ヘサルヘカラサルノ制度ヲ設クル所アリ

我國ニ於テハ公民權ノ資格ヲ與フルニ此第二種ノ制度ヲ採用シ市制町村制ニ依ルトキハ公民タル者ハ(イ)帝國人民タルコト(ロ)公權ヲ有スル者ナルコト(ハ)獨立ノ男子タルコト(ニ)二十五歲以上ナルコト(ホ)二年以上住民ト爲リ二年以來町村ノ費用ヲ負擔スルコト(ヘ)町村內ニ於テ地租又ハ直接國稅二圓以上ヲ納ムルコト(ト)公費ヲ以テ救助ヲ受ケス又ハ救助ヲ受ケタル者ハ其以後滿二年ヲ經過シタルコトノ要件ヲ具備スヘキモノナリ

公民タル者ハ特別ノ權利及ヒ義務ヲ有スルモノニシテ權利トハ市町村ノ自治行政ニ參與スルノ權ニシテ義務トハ市町村ノ名譽職ヲ擔任スルノ義務ナリ而シテ故ナク名譽職ニ就クコトヲ拒ムトキハ之ニ對シテ制裁アリ蓋シ此ノ如キ義務ヲ負ハシムルハ公民權ヲ人民ニ與ヘ公共ノ爲メ人民カ之ヲ誠實ニ實行スルコトヲ期スルニ在ルモノナリ

公民權ノ消滅スル場合ハ其資格タル要件ヲ失ヒタルトキ及ヒ市町村ノ公職ニ

就キタルカ爲メ公民ト爲リタル者ハ其職ヲ失ヒタルトキナリ又其選挙權停止ノ場合ハ市町村制第八條第三項ニ規定セラルルモノナリ

第六項　市町村ノ機關

第一　議決機關

公共團體ハ法人ニシテ自然人ニ非ス故ニ其意思ヲ構成スル機關ヲ具ヘサルヘカラサルハ勿論ニシテ市町村ニ於ケル意思機關ハ市町村會ナリ而シテ市町村ノ意思ハ此等ノ機關ノ議決ニ依リテ定マルモノナリ唯市町村ニ於テハ郡參事會ノ議決ヲ經其議決ニ依リ町村總會即チ町村公民ノ總會ヲ以テ町村會ニ代フルコトヲ得今市町村會ノ權限ヲ考フルニ市町村制理由書ニハ市町村會ハ市町村ニ對シ代表ストアレトモ市町村會ハ市町村ヲ外部ニ對シ代表シ得ルモノニ非ス即チ市町村會ハ特別ノ明文以外ニ外部ニ對シ自ラ直接ニ交渉スルノ權ナキモノナリ又市町村會ハ議決ヲ爲スモ特別ノ場合ノ外執行權ヲ有セス執行權ハ常ニ執行機關ニ屬スルモノナリ今市町村制ニ依リ市町村會ノ權限ニ屬スルモノヲ列擧スレハ左ノ如シ

(イ)　市町村一切ノ事件ヲ議決スルコト（市制第三十條及ヒ町村制第三十二條ハ其議決事項ヲ列記スト雖モ是レ其概目ニ止マリ悉ク列擧シタルモノニ非ス

(ロ)　市町村一切ノ吏員ヲ選擧スルコト（市ニ在リテハ市會議長及ヒ其代理者、市長助役名譽職參事會員市ノ收入役區長代理者臨時又ハ常設ノ委員市制第三二條、第三七條、第五一條、第五八條、第六〇條、第六一條參照）町村ニ在リテハ町村長、助役收入役書記其他ノ附屬吏員區長及ヒ其代理者臨時又ハ常設ノ委員町村制第三四條、第五三條、第六二條乃至第六九條）

(ハ)　特ニ委任セラレタル事件ヲ議決スルコト（若シ將來此ノ如キ特別ニ議決ノ委任ヲ爲ス場合ハ必ス法律又ハ勅令ニ依ルヘキモノナリ（市制第三〇條、町村制第三二條）

(ニ)　市町村行政ヲ監督スルコト（市會及ヒ町村會ハ市並ニ町村ノ事務ニ關スル書類及ヒ計算書ヲ檢閲シ市町村長ノ報告ヲ請求シ以テ事務ノ管理、決議ノ執行並ニ收入支出等會計事務ノ成否ヲ監視ス（市制第三三條、町村制第三五條）而シ

ヲ監督ノ結果意見ヲ陳述スルコトヲ得ルモ市參事會町村長等ノ不信任ヲ決議シ委員ノ非ヲ擧ケタ之ヲ彈劾スルノ權ヲ有セス

(ホ) 左ノ場合ニ意見ヲ述フルコト

(甲) 行政監督ノ結果トシテ監督官廳ニ對シ意見ヲ述フルコト

(乙) 市町村ノ公益ニ關シ監督官廳ニ意見ヲ述フルコト

(丙) 官廳ノ諮問ニ對シ意見ヲ述フルコト(市制第三四條町村制第三六條)

(イ) 訴願ニ對スル裁決ヲ爲スコト　市町村ノ行政ニ關シ行政上ノ紛議ヲ生シタルトキハ國家ノ直接機關トシテ訴願ニ對スル第一審ノ裁決ヲ爲スコトアリ然レトモ町村會ノ設ナキ處ニ於テハ此權ハ町村長ニ屬スルモノナリ(市制第三五條町村制第三七條第一項第二項)

(ト) 議會ノ內部ニ關シ左ノ權限ヲ有スルコト

(甲) 會議ノ細則ヲ定ムルコト(市制第四八條町村制第五〇條)

(乙) 議員ノ資格ヲ審査スルコト(市制第二九條町村制第三〇條)

(丙) 處務規程ヲ定ムルコト　例ヘハ議長ノ選任市町村會ノ招集議事錄ノ調

製等ノ如シ(市制第三七條乃至第四七條町村制第三九條乃至第四九條)

市町村會ノ組織ハ陸海軍ノ現役者以外ノ一般ノ公民中ヨリ選擧セラレタル議員ヲ以テ組織セラレ而シテ其議員ハ市ニ於テハ三級選擧町村ニ於テハ二級選擧ニ依リテ選擧セラルルモノナリ町村ヲ二級選擧ト爲シタルハ町村ハ市ニ比シテ貧富ノ懸隔少シトスルニ因ルモノニシテ議員ノ定員ハ市制及ヒ町村制第十一條ニ於テ詳シク規定セラレタリ

今等級選擧ノ當否ヲ考スルニ市町村制理由書ニ曰ク(名譽職ニ任スルハ町村公民ノ輕カラサル義務ナレハ資產アル者ニ非サレハ之ニ任スルコト能ハス又其稅額ノ多寡ハ姑ク之ヲ論セスルモ其專ラ自治ノ義務ヲ負擔スル者ニ相當ノ權力ヲ有セシムルハ固リ當然ノ理ナリ今等級選擧法ヲ以テ常例トセルハ即此要旨ニ外ナラス等級選擧ノ例ハ本邦ニ於テハ創始ニ屬スト雖モ之ヲ外國ノ實例ニ照スニ明ニ其良結果アルヲ徵スルニ足ル本制ハ被選擧權ノ資格ヲ廣クシテ而シテ其流弊ナキヲ信スル所以ノモノハ即此選擧法ニ依テ以テ細民ノ多數ニ制セラルルノ弊ヲ防クニ足ル(キヲ以テナリ)ト即チ此理由ヲ約言スレハ

市民ノ多數富者ヲ壓倒スルノ弊ヲ防キ二財產ト權利トヲ準得セシムルニ在リ然レトモ此理由ハ甚タ薄弱ナルモノニシテ第一市民ハ多數富者ヲ壓倒スルノ弊ヲ防クニ在リト云フトモ畢竟之ヲ反面ヨリ觀ルトキハ等級選擧ハ富者貧民ヲ壓倒スルノ弊ヲ求ムルニ在リ第二財產ト權利トヲ平得セシムルニ在リトスレハ國家ノ意レ納稅義務ト參政權トノ報酬關係ノ如キ觀ル英國民權主義ノ學說ニ基クモノニシテ今日ニ於テ行ハレサルヲ思想ナリ今等級選擧ノ缺點ヲ擧クレハ第一、賄賂行ハレ易シ何トナレハ上級ノ選擧人少數ナレハナリ第二、選擧區ヲ設定スル市ニ於テハ同額ノ納稅者ニシテ其住所ハ他ニ於テハ三級選擧人ト爲ル等不平等ノ結果ヲ生ス尙ホ多額納稅者ニ多クノ權利ヲ與ヘサルニカラサルノ理由存セハ學識ヲ標準トシテ學識優等者ニハ多クノ權利ヲ與ヘサルニカラス又等級選擧ヲ市町村ニ行フモノトスルハ之ヲ國會議員ノ選擧ニ準ス亦行ハサルヘカラスヤ然ルニ單ニ我國ニ於テハ市町村ニ限リテ此制ヲ用ヒ權利ヲ與フルニ納稅額ノ多少ヲモ依ルカ如キハ今日ノ制度トシテ其當ヲ得タルモノト謂フヘカラサルナリ

等級選擧ニ關シテハ我市町村制ハ規定不完全ナル所アリ例ヘハ一人ニシテ市ニ於テ市ノ納稅總額ノ三分ノ一以上ヲ納メ又者アル場合ニ關シ規定ナキモノト是ナリ普通ニ於テハ此ノ如キ場合ニ處スルニ特別ノ規定ヲ設ケ一人ニシテ納稅總額ノ三分ノ一以上ヲ納ムルトキハ其者ハ以テ一級選擧人ト爲シ其者ノ納稅額ヲ控除シタル殘餘ノ納稅額ヲ二分シ一級選擧人ノ外納額多キ者ヲ合シ此半額ニ當ルヘキ者ヲ二級選擧人ト爲シ爾餘ノ選擧人ヲ三級選擧人ト爲スモノトセリ我邦ニテハ之ニ關スル規定ナキヲ以テ若シ一人ニテ納稅總額ノ三分ノ二ヲ納メタルトキハ其者ヲ以テ一級選擧人ト爲シ其殘餘ノ公民ヲ以テ總テ二級選擧人タルヘキモノト解シタルモノ又是レ三級選擧制度ノ精神ヲ破ルモノニシテ之ヲ規定ノ不完全ナル結果茲ニ至レルモノナリ

市町村會議員タルモノハ總テ名譽職ニテ我國ニ於テハ其任期ヲ六年ト爲シ三年毎ニ其半數ヲ改選スルモノナリ之ニ反シ佛國ニテハ半數改選ノ制ヲ採ラスシテ四年毎ニ全議員ヲ改選スヘキモノト爲セリ蓋シ半數改選ノ制ハ議會ノ事務ニ連續シタル者ヲシテ新議員ヲ指導セシメントスルカ爲メカ

議員ト爲ルノ資格要件ハ公民ニテ選擧權ヲ有スルコトト爲シ唯例外トシテ左ノ者ハ被選資格ヲ與ヘラレタルモノナリ

(イ) 所屬府縣ノ官吏

(ロ) 有給職市町村吏員

(ハ) 判事檢事及ヒ警察官

(ニ) 小學校教員神官僧侶其他諸宗ノ教師

(ホ) 代言人以外ノ者ニテ他人ノ爲メニ裁判所又ハ官廳ニ對シ事ヲ辯スルヲ業ト爲ス者

(ヘ) 議員又ハ吏員ト親戚タル者

第二執行機關

市町村會ノ議決アリタルトキハ市町村長ハ必ス之ヲ執行スルノ義務アリ而シテ其執行機關ハ市ニ在リテハ市參事會ナル合議機關ヲ以テ之ニ充テ町村ニ在リテハ單獨機關ナル町村長之ニ任スルものナリ市長ナルモノハ唯市參事會ノ議決ヲ執行シ外ニ對シテ之ヲ代表シ日常ノ事務ヲ監督スル間過キス此ノ如ク市町村ノ執行機關トシテ合議制ト單獨制トノ差異アル所以ハ市ノ如キ大ナルモノニ在リテハ一人ヲシテ責任アル政務ヲ爲サシメントスルハ不可能ノ事ナリ之ニ反シテ町村ノ如キ小ナルモノニ在リテハ區畫小ニシテ適當ナル人材ヲ得ルコト難キカ故ニ勢ヒ單獨制ヲ用ヒナルヘカラサルノ狀況ニ在レハナリ其職務權限ヲ考フルニ市參事會及ヒ町村長ハ市町村會ノ議案ヲ發案シ其議決ヲ執行シ且市町村ヲ代表シ其名ニ於テ市町村行政ヲ統轄スルニ在リ然レトモ市參事會ハ合議機關ナルカ故ニ其議長ト爲リ議事ヲ準備スル者ナカルヘカラス此任ニ當ル者ハ市長ナリ但市長ハ處理急ヲ要スルノ事件生シ市參事會ヲ召集スルノ遑ナキトキハ自ラ之ヲ決シテ市參事會ノ合議ニ之ヲ報告スルヲ得ルモノナリ

市町村會ノ議決ハ市參事會町村長ニ於テ又市參事會ノ議決ハ市長ニ於テ必ス之ヲ執行セサルヘカラサルモ若シ其議決ニシテ其權限ヲ超エ法令ニ反キ又ハ公益ヲ害スト認メタルトキハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ其議決ノ執行ヲ停止スルノ權アリ然レトモ彼等ハ終局ノ處分ヲ爲スノ權ナク市

參事會及ヒ町村長ハ之ヲ市町村會ノ再議ニ付シ仍ホ聽ハサルトキハ府縣參事會又ハ郡參事會ノ採決ヲ請ヒ市長ハ市參事會ノ再議ニ付スルコトナク直チニ府縣參事會ノ採決ヲ請フヘキモノトシ尙ホ其他市參事會及ヒ町村長ノ權限ニ屬スルモノヲ列擧スレハ(市制第三十一條、町村制第三十三條)

(イ) 市町村財產及ヒ市町村ノ設置ニ係ル營造物ヲ管理シ又ハ管理者アルトキハ其事務ヲ監督スルコト

(ロ) 收入支出ヲ命令シ會計ヲ監督スルコト

(ハ) 市町村ノ公私ノ權利ヲ保護シ市町村ノ事務ニ關スル證書及ヒ公文書類ヲ保管スルコト

(ニ) 使用料、手數料、加入金、市町村稅及ヒ夫役現品ノ賦課及ヒ徵收ヲ掌スルコト

(ホ) 市町村吏員及ヒ使丁ノ監督並ニ之ヲ懲戒スルコト

市ノ長官ハ合議制ニ依ル町村ニ於ケル長官ニ單獨制ニ依ル其組織ニ付キ差異アルヲ以テ其權限ニ於テモ亦異ナル所アリ即チ國ノ行政機關トシテハ市ニ在リテハ市長、町村ニ在リテハ町村長ヲ使用スルモノトス(市制第七四條、町村制第六九條)即チ市町村長ハ國ノ行政府縣ノ行政ニシテ其町村ノ區域ニ限リ行フコトヲ得ル所ノ職事務ヲ掌ルモノニシテ其中最モ重要ナルモノハ地方警察事務ナリ地方警察トハ所謂行政警察ニシテ或區域ヲ限リ之ヲ執行スルニ由リ其目的ヲ達スルモノヲ謂フ市ノ公況ニ準スルモ市長ノ公況ニ準スルモ市ノ公況ニ同一ニ市ノ公況ニ

今地方警察ト市町村トノ關係ヲ觀察スルトキハ諸國ノ制度一カラスシテ或ハ之ヲ市町村團體ニ委任スルアリ或ハ特ニ市町村ノ團體機關ヲ指定シテ之ヲ委任スルアリ我國ニテハ制度上第二ノ主義ヲ採ル而實際ニ於テハ市町村機關ハ警察事務ニ參與セス別ニ警察署ヲ設置シテ之ヲ管掌セシメタリ若シ將來法令ニ依リテ特別ノ委任ヲ受ケタルトキハ市町村長ハ司法警察官トシテ其事務ヲ執行スルノ權限ヲ有スルニ至ルヘキナリ蓋シ市制町村制ニハ(法律布令ニ依テ其管理ニ屬スル地方警察ノ事務)アレハナリ國ノ行政機關トシテ市町村長ハ上級官廳ニ對スル關係ハ國家ノ官吏カ上級官吏ニ對スルト異ナルコトナク又之ト同時ニ市町村ノ掌ル國ノ行政事務ニ付テハ市町村會ノ干渉ヲ許サヽルモノナリ但其費用ニ待テハ市町村ノ負擔ニ屬スル)ニ由リ市町村會ノ議

決ヲ要スルハ勿論ノ事ナリ(市制第七四條、町村制第六九條)ニ由リ市町村會ハ[illegible]
市參事會ハ市長、助役及ヒ名譽職參事會員ヲ以テ之ヲ組織スルモノナリ而シテ
市長ハ内務大臣ノ命令ニ依リ市會カ推薦シタル三名ノ候補者ノ中ニ付キ勅定
セラルルモノニシテ若シ裁可ヲ得サルトキハ再推薦ヲ爲シ尚ホ裁可ヲ得サルトキハ
内務大臣臨時代理者ヲ選任シ又ハ特ニ官吏ヲ派遣シ市長ノ職務ヲ執ラシメ其
費用ヲ負擔セシムルナリ蓋シ市長ノ選任ニ裁可ヲ要スルハ之ニ依リ自治體ノ
行政ト國家ノ行政トヲ互ニ連絡セシメ統一セシメントスルカ爲メナリ(市制第
五〇條)市長ハ其任期六年ニシテ有給職ナリ蓋シ給料ヲ與ヘテ人材ヲ得ントス
ルカ爲メナリ廣ク適任者ヲ求ムルカ爲メ市長ト爲ルニハ市ノ公民タルコトヲ要
セサルモノトセリ然レトモ市ノ公民ニ非スシテ市ノ行政ニ關係スルハ自治ノ
精神ニ戻ルニ由リ市ノ公民ニ非スシテ市長ト爲リタル者ニハ同時ニ市ノ公民
タルノ權ヲ與フルモノトセリ[illegible]
助役ハ市會ノ選擧ニ係リ府縣知事ノ認可ヲ以テ定マルモノニシテ其任期及ヒ有
給職タルコト又助役ト公民タルノ關係トニ付テハ市長ニ於ケルト同シキニ由

付之ヲ再ヒ議セサルナリ[illegible]スルニ在ルナリ蓋シ委員ナルモノハ市町村
名譽職參事會員ハ其定員六人乃至十二人ニシテ市會ニ於テ選擧シ其被選
資格ハ選擧權ヲ有スル年齡三十歳以上ノ市公民タル者ニシテ其任期ハ四年ナリ滿
二年毎ニ其半數ヲ改選ス[illegible]町村會ハ選出ニ係ル所ノ町村會議員
我國ニテハ市參事會員ハ總テ名譽職ナルモ[illegible]有給ナル公吏中ニ名譽
職ナルモノアリ市町村會ハ[illegible]委員ヲ置クコトヲ
町村長ハ其任期ハ四年ニシテ名譽職タルヲ原則ト爲シ唯條例ヲ以テ之ヲ有給ト
爲スコトヲ得ルモノトス又町村長ハ町村會ニ於テ之ヲ選擧シ府縣知事ノ認可
ニ依リテ決定スルモノナレトモ若シ府縣知事カ認可セサルトキハ内務大臣ノ
認可ヲ請フコトヲ得ルモノナリ[illegible]
其補助者及ヒ代理者トシテ助役アレトモ其任命等ノ手續ハ町村長ト概ネ同
シキニ由リ之ヲ略ス[illegible]
第三ハ附屬機關[illegible]
(一)、收入役　收入役ハ各市町村ニ於テ收入支出ノ事務ヲ掌ル爲メニ設ケラレタル

モノヲシテ有給職ヲ以テ其任期四年ヲ超ヘ六年ヲ超ヘサルモノトシ而シテ之ヲ收入役ハ市參事會又ハ町村長ノ推薦ニ係リ市町村會之ヲ選任シ府縣知事又ハ郡長ノ認可ニ依リテ確定スルモノナリ又收入役ハ金錢ノ出納ヲ掌ルモノナルカ故ニ保證金ヲ差出シ市町村會ノ決議ニ依リテ免除スルコトアリ(ロ)區長及ヒ代理者ハ行政ノ便宜上市町村ヲ分チシテ區長ヲ置クコトアリ其區長ノ權限ハ市町村ノ行政廳ニ隸屬シ法令ニ基キ市内ノ事務ヲ掌ル在ルモノアリ區長及ヒ其代理者ハ其區者ノ中ヨリ選擧セラルヽモノアリ名譽職タルコトヲ原則トスルモ有給職タルコトヲ妨ケサル(ハ)委員ハ市町村ヲ市町村會ノ決議ニ依リ常設又ハ臨時ノ委員ヲ置クコトヲ得而シテ委員ハ名譽職ニシテ市參事會ヲ以テ市參事會員市會議員市公民中選擧權ヲ有スル者ヨリ之ヲ組織シ町村ヲ以テハ町村會ノ選出ニ係ル所ノ町村會議員又ハ町村公民中選擧權ヲ有スル者ヲ以テ之ヲ組織ス(ニ)市町村會ノ議決ヲ以テ市町村行政事務ノ共同處理ヲ目的トスル組合ヲ組織スルコトヲ得(ホ)市町村會ハ其ノ管理若クハ監督ニ屬スル特ニ委託ヲ以テ種種ノ事務ヲ處辦スルニ在ルナリ蓋シ委員ナルモノヲ市町村ニ置クハ市町村公民ヲシテ成ルヘク市町村ノ公共事務ニ從事セシメテ以テ自治制度ノ運用ニ慣熟セシメントスルカ爲メナリ

(四)　書記其他ノ附屬員及ヒ使丁　此等ハ皆有給職ニシテ市ニ於テハ市參事會之ヲ任用シ町村ニ於テハ書記其他ノ附屬員ハ町村長ノ推薦ニヲ町村會之ヲ選任シ其權限ハ市町村長ニ隸屬シテ庶務ヲ分掌スルニ在ルナリ

第四　市町村吏員ノ法律上ノ地位

市町村吏員ハ我國ニテハ普通公吏ト稱セラレ獨逸ニ於テハ間接官吏ト稱セラルルナリ而シテ前述シタル執行機關及ヒ附屬機關之ニ屬スルモノニシテ議決機關ヲ組織スル市町村會ノ議員ノ如キハ之ニ包含セラレサルモノトス

(一)　吏員ト官吏　此兩者ヲ區別スルノ標準ハ甚タ困難ニシテ(イ)法ヲ處理スル事務ニ依リテ之ヲ區別スルコトヲ得ス何トナレハ其演進官吏ニ時トシテ市町村ノ事務ヲ處理シ市町村ノ吏員モ亦市町村内ノ國政事務ヲ掌ルコトアルヘキカ(ロ)報酬ノ有無ニ依リテ之ヲ區別スルコトヲ得ス吏員ニモ有給職者アリ又官吏ニモ無給ノ者アレハナリ(ハ)其地位責任ニ依リ之ヲ區別スルコトヲ得ス蓋シ

兩者共ニ上下從屬ノ關係ニ立テタ又共ニ其權限内ニ於テ無定量ノ事務ヲ執行スルコトヲ擔任スレハナリ是ニ於テ任命ノ手續ニ依リテ之ヲ區別スルノ外ナキナリ即チ官吏ハ任命ノ形式ヲ以テ其地位ニ就キ官員ハ其團體ノ選擧ニ依リテ其地位ヲ得或ハ市長ノ如ク勅裁ニ依リテ其地位確定スル者アレトモ之ハ未武官任命權ノ作用ニ非ラスシテ市町村團體ニ對スル監督權行動ノ結果ニ過キサルナリ其結果トシテ官吏ハ任命者ニ對シ直接ニ從屬關係ニ立ツモ之ニ反シテ市長ハ君主ニ直接隸屬スルモノニ非サルナリ又雇ト吏員ト異ナル點ハ雇傭契約ニ基クト否トニ在リ吏員ト議員トノ異ナル點ハ上下關係ニ立ツト否トニ在リ又夫役ト吏員ト異ナル點ハ市町村一般ノ義務ニ依ルト否トニ在ルモノナリ

第五　有給職ト名譽職

此區別ハ給料ノ有無ニ依ルモノナリ而シテ名譽職ノ者モ報酬ヲ得ルコトアリト雖モ給料ト報酬トハ其性質ヲ異ニシ給料ハ官吏ノ俸給ト同一ノ性質ヲ有スルモ報酬ハ之ニ反シ手當ト等シク勤勞ノ多少ニ依リテ定マルヘキモノナリ又名譽職ノ議員ハ就職ノ義務ヲ有スルヲ以テ通例トシテ強ヒテ選擧ス故ニ選任セラレタルトキハ之ヲ承諾スルト否トノ自由ナク即チ選擧及ヒ任命ハ選任セラレタル者ノ同意ヲ待タスシテ直チニ效力ヲ生スルモノナルモ之ニ反シテ有給職ニ選任セラレタル者ハ就職ノ義務ナキニ由リ其同意ヲ待チテ始メテ效力ヲ生スルモノナリ又選任サルル資格ニ付テモ有給職ト名譽職トノ間ニ區別アリ即チ名譽職ハ市町村公民中選擧權ヲ有スル者ニ非サレハ之ニ就クコトヲ得ス而モ有給職ノ地位ニハ公民權ヲ有セサルモノ〳〵モ之ニ選任セラルルコトヲ得ルナリ又兩者ノ間ニハ既ニ述ヘタル如ク就職ノ義務ノ有無ニ關スル區別アルヲ以テ有給職ニ在ル者ハ何時ニテモ其職ヲ辭スルコトヲ得ルモ名譽職ニ在ル者ハ特別ニ事由ヲ與ヘラルル外其職ヲ辭スルコトヲ得ス又名譽職ノ者ハ公民權ヲ停止セラレ又公民タルノ資格ヲ失フトキハ當然其職ヲ失フモ有給ノ者ハ此ノ如キ失職ヲ生スル場合ナク唯就職ノ得ノ公民權ヲ得タル者ニ公民權停止ノ條件ヲ缺ルトキハ其職ヲ失フモノナリ其他吏員ハ權利ニ付テハ兩者ノ間ニ區別アリ夫有給吏員ハ給料ヲ得ルノ外條例ノ規定ニ依リ退職料ヲ受クルコトヲ得ル者

名譽職ノ場合ハ無給ナルナリ又官吏員ノ義務ニ關シテハ官吏ノ間ニ區別アリテ名譽職吏員ハ本來他ノ業務ニ從事シ他事ヲ以テ市町村ノ事務ヲ執ルニ至ルヲ以テ之カ故ニ他ノ業務ニ從事シ得ルハ勿論ナレトモ有給吏員ハ市町村長助役ハ他ノ有給ノ職務ヲ兼ネ又ハ營利ヲ目的トスル法人ノ役員若クハ事務員タルヲ得ス又監督官廳ノ許可ヲ得テハ營業其他報酬アル業務ニ從事スルヲ得ルモノナリ

第七項　市町村ノ事務

市町村ノ事務ハ或ハ之ヲ分チテ必要事務ト隨意事務トノ二トスル者アリ此區別ハ當ヲ得ス何トナレハ市町村ハ國家ニ對シテ事務ヲ執行スルノ義務ヲ有シ市町村ノ權限ニ屬スル事件ニシテ公益上必要ナルモノハ市町村之ヲ執行スルノ義務ヲ有シ又公益上必要ナシトスレハ市町村ノ費用ヲ徴收シテ之ヲ執行スルコトヲ得ス故ニ此點ヨリ觀レハ凡ソ必要事務ナルモノハ必ス然ラサルモノハ市町村ノ自由ナル隨意事務トハ市町村ニ於テ必要若クハ不必要ヲ判斷スルノ自由アル

ノ事務ナリト之ヲ解スルナラハ必要事務及ヒ隨意事務ノ區別ヲ爲シ得サルニ非サルナリ或ハ又委任事務及ヒ獨立事務トノ區別ヲ爲ス者アリ獨立事務ハ又之ヲ固有事務ト名ケ市町村ノ本來ノ事務或ハ國家ヲ關係ナキモノヲ市町村ノ固有ニ有スルノ事務ナリト解スル者アレトモ非スヤ無論若シ能畫義ヲ以テ市町村ノ事務ヲ委任事務ト獨立事務トニ區別セントスルトキハ然レトモ市町村ノ事務ハ總テ國家ノ事務ナレハナリ然レトモ者シ固有事務ハ國家ヲ市町村ヲ設置シタルトキ當然其事務中ニ包含スヘシト認メラレタル概括的委任ノ事務ニシテ委任事務トハ特別ノ事項ヲ特ニ委任セラレタル事務ナリト解スルナラハ委任事務ト固有事務トノ區別或ハ委任事務ト獨立事務トノ區別ハ存在シ得サルモノニ非サルナリ

今市町村ニ於テ處理スル事務ヲ考フルニ市町村ノ事務トシテ市町村ニ關スル公共事務及ヒ從來ノ法律命令ニ依リ又將來ノ法律ニ依リ市町村ニ屬セシメラレタルモノナリ而シテ其內容ヲ見レハ市町村ノ爲シ得ルコトハ狹キ範圍ニ於テ行政事務殊ニ內務行政ノ範圍ニ屬スル所ノモノニシテ立法ハ制限ヲ有シテ自治

體ヲ形成シ業務ノ之ヲ術ニ導ル論術法術等ニ關シテハ戰術ニ涉獵シ之ヲ市町村團體ニ行フヲ得ルモ其ノ市町村ニ於ケル所ロイハ來チ國家ニ對シテ玲瓏務行政ノ如何ハ其事務ヲ分カ市町村ニ於テ行ハルル事務ニ關シテハ之ヲ市町村團體ニ委任シ其他ノ事務ハ之ヲ國家ノ事務ニ關シテハ之ヲ國家ニ委任シ其他ノ事務ハ之ヲ國家ノ事務ニ關シテハ之ヲ國家ニ委任シ

二、教育事務

三、土木事務

四、慈惠及ビ救助事務

五、勸業事務

等其主務ルモノナリ其他機關ヲ委任ヲ以テ市町村ハ國庫及ビ郡ノ事務ヲ處理スルコトアリ尤モ其委任ノ方法ニ依リ之ヲ團體ニ委任スルトキハ其團體吏員ニ委任スルトキハ之ヲ我市町村制ニ方針ハ國家ノ事務ニシテ市町村ニ關係アル事務ハ之ヲ市町村ノ機關ニ委任スル原則ヲ爲ス(市制第三〇條、第七四條町村制第三十條第六項參照)

雜錄

○僞證罪ノ被害者ハ僞證罪ノ被害者ニ例外ナルカ例ヘハ被告人ヲ陷害スルノ意思ヲ以テ僞證ヲ爲シタル場合ノ如キハ其陷害セラレ者タハ陷害セラレシトシタル者ヲ以テ被害者ナリト爲スヘキカ又ハ國家ノ裁判權其ノ人ナルカ實タ又誤判ニ陷ルコトアルヘキ裁判官其人ナルカ實ニ示スヘキ大審院ノ判決ハ必スシモ此等ノ問題ヲ決シタルモノニ非サルヘシト雖モ判事カ僞證罪ノ被害者ナリヤ否ヤニ付キ之ヲ否定シテ曰ク(僞證ニ依リ害ヲ被ムル者ハ國家ノ裁判權其者ニシテ判事又ハ裁判所書記ニアラス故ニ虛僞ノ證言ヲ聽キタル判事及ヒ裁判所書記ハ僞證ノ被害者トシテ僞證事件ニ付キ其職務ノ執行ヨリ除斥セラルヘキ理ナシト(大審院明治三十六年(れ)第二四五號僞證事件、刑錄第七輯第三卷)文書ヲ僞造シ

○公證文書ノ僞造ニ因ル詐欺取財罪ト結效ス官公私文書ヲ僞造變造シテ詐欺取財罪ヲ犯シタル者ハ實質上ノ一罪トシテ刑法第三百九十條第二項ヲ適用スヘキコト明瞭ナリトス而シテ官公文書及ヒ第二百四條所載ノ文書ノ僞造變

造行使ノ罪ハ重罪ニシテ詐欺取財ノ罪ハ輕罪ナリ謂フ時效ノ期間ヲ異ニスルモノハ今詐欺取財罪カ公訴ノ時效ニ罹リ官公文書ノ僞造變造行使罪カ未タ時效ニ罹ラサルトキハ所謂實質上ノ一罪ヲ分離シテ單ニ官公文書ノ僞造變造行使罪ヲ以テ問擬スヘキカ大審院ハ曰ク詐欺取財ヲ爲スニ因テ官公文書ヲ僞造行使シタル場合ニ於テ刑法第三百九十條第二項ヲ適用シ實質上ノ一罪トシテ處斷スト雖モ若シ其實質上一罪ノ一部タル詐欺取財又ハ文書僞造ノ點カ無罪タルヘキ場合ニ於テハ之ヲ分離シテ唯其有罪ノ部分ノミヲ罰スヘキ筋合ナリトス隨テ詐欺取財ト官私文書僞造ト併發シタル場合ニ於テハ若シ其私書僞造詐欺取財ノ點カ公訴ノ期滿免除ニ係ル時ハ單ニ官文書僞造ノ點ノミヲ罰シ私文書僞造詐欺取財ノ點ハ之ヲ分離セシムヘキモノニシテ官文書僞造ト共ニ實質上一罪ヲ構成スヘキ部分ナルカ故ニ期滿免除ノ效ナキモノト論斷スルヲ得ス（大審院明治三十六年(れ)第四號文書僞造行使事件明治三十六年三月十七日第二刑事部宣告）

○冒認罪ト文書僞造　刑法第三百九十三條ノ罪ヲ犯スノ目的ヲ以テ私文書ヲ僞造シタルトキハ何レノ條文ヲ適用スヘキカノ問題ニ對シ長崎控訴院ハ私文書僞造行使罪ト冒認罪トノ數罪俱發ナリト認メタルカ大審院ハ之ニ反シテ第三百九十條第二項ヲ適用スヘキ實質上ノ一罪ナリト爲シ說明シテ曰ク「刑法第三百九十三條ニ他人ノ動產不動產ヲ冒認シテ抵當其物ト爲シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ストアリテ之ヲ詐欺取財ノ眞犯ト爲ナスシテ以テ論ストナシタルモノハ蓋シ冒認罪ハ詐欺取財ノ眞犯ニアラサルモ其情眞犯ト異ナラサルヲ以テ斯ク規定セラレタルモノト解セサルヲ得ス故ニ冒認罪ハ單純ノ詐欺取財罪ト其處罰ヲ異ニスルノ理由アルコトナシ而シテ本件僞造ニ係ル文書即チ賣渡證書等ハ元ト是レ冒認ノ用ニ供セシモノナルヘキモ之ヲ冒認シタルノ要ハ金員ノ騙取ニ外ナラサレハ其文書ハ即チ詐欺取財ヲ爲スニ依リ僞造行使シタルモノト云ハサルヲ得ス既ニ然レハ本件ノ事實ニ對シテハ刑法第三百九十條第二項ヲ適用シ實質上ノ一罪トスヘキモノナルニ原判決爰ニ出テス本件私書僞造行使ノ所爲ハ冒認罪ト實質上ノ一罪ヲ爲スヘキモノニアラストシ數罪俱發例ニ照シ處斷シタルハ上告所論ノ如ク擬律錯誤ノ判決タルヲ免カレサルモノトス」ト（大審院明治三十五年(れ)第二四一六號私書僞造行使地所冒認紙當事件明治三十六年二月二日第一刑事部宣告）

○控訴中取下ケタル私訴ノ提起　民事訴訟法ニ依レハ控訴ノ取下ハ上訴權喪失ノ效果ヲ生スルモノトシ多少ノ疑ナキニ非サレトモ附帶控訴トシテノミ更ニ提起スルコトヲ得ヘシ（民事訴訟法第三九九條第二項、第四〇五條第一項）然ラハ私訴ニ付テハ如何刑事訴訟法ハ其第四條第一項ニ於テ「私訴ハ云云公訴ニ付キ第二審ノ判決アルマテ何時ニテモ其公訴ニ附帶シテ之ヲ爲スコトヲ得」ト規定シ第七條第一號ニ於テ拋棄ハ私訴權ノ消滅ヲ來スモノトセリ然ラハ控訴中私訴ヲ取下ケタルトキハ更ニ之ヲ提起スルモ妨ナキカ大審院ノ判決要旨ニ曰ク「私訴ハ第二審ノ判決アルマテ何時ニテモ之ヲ爲スコトヲ得ルモノナレハ控訴中一旦之ヲ取下ケルモ更ニ提起スルコトヲ得ヘクシテ刑事訴訟法中前訴訟費用未濟ナルトキハ之カ提起ヲ爲スコトヲ得サルノ規定アルコトナシ而シテ同法第二百一條第三項ハ私訴費用ノ負擔ニ付キテノミ民事訴訟法ヲ準用シ本案ノ如キ私訴權ノ有無ニ關シテモ之ヲ準用スルノ法意ニアラス」ト（大審院明治三十五年（れ）第二一四九號委託金費消事件明治三十六年一月二十日第二刑事部宣告）

[illegible]

三十六年四月

[illegible]

第三種郵便物認可　三十六年度　第三卷　第十二號

特別法講義錄

第二號
五月一日
發行

○市制町村制　法學士　松浦鎮次郎
○戸籍法　同學士　島田鐵吉
○人事訴訟手續法　法學士　横岡鶴正
○特許法　法學士　杉本貞治郎

會本時報價二八〇厚紙製部制（松浦學士）○供託法（塩澤學士）○非訟事件手續法（横田學士）○不動產登記法（島木學士）○親族法（宮崎子學士）○租稅法（若槻學士）○著作權法（水野博士）○公證人規則（鳥岡學士）○執達吏規則（七戸田博士）
ア掲載ス○毎月一回發行○月謝金十五錢

發行所　和佛法律學校

（明治二十二年十二月九日內務省許可）
（明治三十年十一月四日郵便物認可）
（明治三十六年四月十六日郵便物第三種認可）
（明治三十六年七月六日郵便物第三種認可）

明治三十六年四月廿九日發行
（定價金二十五錢）
東京市小石川區小石川白山御殿町
編輯兼發行者　秋原敬之
東京市千代田區九段坂下三番地
印刷者　小笠山清吉
東京市芝區新堀人形町五番地十二番地
印刷所　愛子商會

發行所　同法省指定　和佛法律學校
東京市麹町區富士見町六丁目十六番地
（電話番號市ヶ谷二十一番）